

# 東北地区大学図書館協議会誌

第 59 号  
平成 20 年 4 月



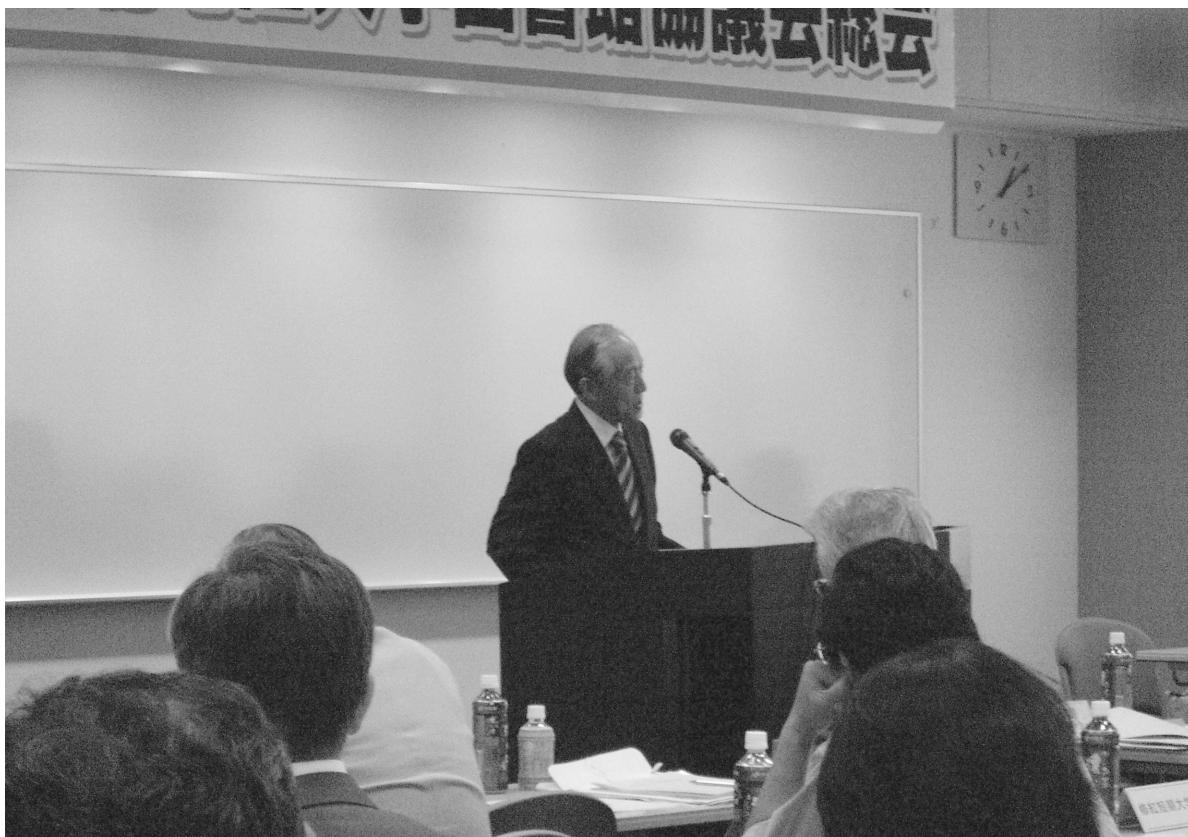
岩手県立大学メディアセンター

加盟館一覧	表紙裏面
教職員秘書向けの図書館講習会－東北大学附属図書館工学分館における講習会活動の報告－	
東北大学附属図書館工学分館情報教育支援ワーキンググループ	1
第 62 回東北地区大学図書館協議会総会	6
日 程	6
総会資料	7
総会議事要録	20
参加者名簿	27
図書館統計年報	30
協議会総会会場一覧	33
東北地区大学図書館協議会役員館一覧	34
東北地区大学図書館協議会会則等	35
東北地区大学図書館協議会防災連絡網設置要項（国立部会、公立部会）	41
加盟館職員名簿	43

## 東北地区大学図書館協議会加盟館一覧

<b>(国 立 15 館)</b>			
弘前大学附属図書館	036-8560	弘前市文京町1	(017)39-3155
岩手大学情報メディアセンター図書館	020-8550	盛岡市上田3-18-8	(019)621-6082
東北大学附属図書館	980-8576	仙台市青葉区川内27-1	(022)795-5911
同 医 学 分 館	980-8575	仙台市青葉区星陵町1-1	(022)717-7973
同 北 青 葉 山 分 館	980-8578	仙台市青葉区荒巻字青葉6-3	(022)795-6368
同 工 学 分 館	980-8579	仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-03	(022)795-5892
同 農 学 分 館	981-8555	仙台市青葉区堤通雨宮町1-1	(022)717-8882
宮城教育大学附属図書館	980-0845	仙台市青葉区荒巻字青葉149	(022)214-3348
秋田大学附属図書館	010-8502	秋田市手形学園町1-1	(018)889-2273
同 医 学 部 分 館	010-8543	秋田市本道1-1-1	(018)884-6052
山形大学附属図書館	990-8560	山形市小白川町1-4-12	(023)628-4904
同 医 学 部 分 館	990-9585	山形市飯田西2-2-2	(023)628-5054
同 工 学 部 分 館	992-2235	米沢市城南4-3-16	(0238)26-3019
同 農 学 部 分 館	997-8555	鶴岡市若葉町1-23	(0235)28-2810
福島大学附属図書館	960-1293	福島市金谷川1	(024)548-8083
<b>(公 立 12 館)</b>			
青森公立大学図書館	030-0196	青森市大字合子沢字山崎153-4	(017)764-1554
青森県立保健大学附属図書館	030-8505	青森市大字浜館字間瀬58-1	(017)765-2011
岩手県立大学メディアセンター	020-0193	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子152-52	(019)694-2070
宮城大学総合情報センター	981-3298	宮城県黒川郡大和町学苑1	(022)377-8313
秋田県立大学図書・情報センター	010-0195	秋田市下新城中野字街道端西241-438	(018)872-1561
秋田公立美術工芸短期大学附属図書館	010-1632	秋田市新屋大川町12-3	(018)888-8106
国際教養大学図書館	010-1211	秋田市雄和椿川字奥椿岱193-2	(018)886-5907
山形県立保健医療大学附属図書館	990-2212	山形市上柳260	(023)686-6671
山形県立米沢女子短期大学附属図書館	992-0025	米沢市通町6-15-1	(0238)22-7334
会津大学情報センター附属図書館	965-8580	会津若松市一箕町鶴賀字上居合90	(0242)37-2545
会津大学短期大学部附属図書館	965-8570	会津若松市一箕町大字八幡字門田1-1	(0242)37-2458
公立大学法人福島県立医科大学附属学術情報センター	960-1297	福島市光が丘1	(024)547-1111
<b>(私 立 34 館)</b>			
青森大学・青森短期大学附属図書館	030-0943	青森市幸畠2-3-1	(017)738-2001
東北女子大学附属図書館	036-8530	弘前市大字豊原1-2-1	(0172)33-2289
八戸大学・八戸短期大学図書館	031-8588	八戸市大字美保野13-98	(0178)30-1695
八戸工業大学図書館	031-8501	八戸市大字妙字大開88-1	(0178)25-8032
弘前学院大学附属図書館	036-8577	弘前市稔町13-1	(0172)34-5211
岩手医科大学附属図書館	020-8505	盛岡市内丸19-1	(019)651-5111
富士大学図書館	025-8501	花巻市下根子450-3	(0198)22-4986
盛岡大学図書館	020-0183	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字砂込808	(019)688-5561
修紅短期大学図書館	021-0902	一関市萩荘字竹際49-1	(0191)24-2211
岩手看護短期大学図書館	020-0151	岩手県岩手郡滝沢村大金字千ヶ窪14-1	(019)687-3864
仙台大学附属図書館	989-1693	宮城県柴田郡柴田町船岡南2-2-18	(0224)55-1399
仙台百合女子大学図書館	981-3107	仙台市泉区本田町6-1	(022)374-5090
石巻専修大学図書館	986-8580	石巻市南境新水戸1	(0225)22-7718
東北学院大学中央図書館	980-8511	仙台市青葉区土樋1-3-1	(022)264-6491
同 多賀城キャンパス図書館	985-8537	多賀城市中央1-13-1	(022)368-1206
同 泉キャンパス図書館	981-3193	仙台市泉区天神沢2-1-1	(022)375-1174
東北工业大学附属図書館	982-8577	仙台市太白区八木山香澄町35-1	(022)305-3178
東北福祉大学図書館	981-8522	仙台市青葉区国見1-8-1	(022)717-3319
東北文化学園大学総合情報センター図書館	981-8551	仙台市青葉区国見6-45-16	(022)233-3878
東北薬科大学附属図書館	981-8558	仙台市青葉区小松島4-4-1	(022)727-0061
宮城学院女子大学図書館	981-8557	仙台市青葉区桜が丘9-1-1	(022)279-5658
尚絅学院大学図書館	981-1295	名取市ゆりが丘4-10-1	(022)381-3439
聖和学園短期大学図書館	981-3213	仙台市泉区南中山5-5-2	(022)376-8257
ノースアジア大学附属図書館	010-8515	秋田市下北手桜字守沢46-1	(018)836-2405
東北芸術工科大学図書館	990-9530	山形市大字上桜田3-4-5	(023)627-2044
羽陽学園短期大学附属図書館	994-0065	天童市大字清池1559	(023)655-2385
山形短期大学附属図書館	990-2316	山形市片谷地515	(023)688-7544
いわき明星大学図書館	970-8551	いわき市中央台飯野5-5-1	(0246)29-7121
奥羽大学図書館	963-8611	郡山市富田町字三角堂31-1	(024)932-8931
郡山女子大学図書館	963-8503	郡山市開成3-25-2	(024)932-4848
東日本国際大学学術情報センター	970-8567	いわき市平鎌田字寿金沢37	(0246)35-0416
日本大学工学部図書館	963-8642	郡山市田村町徳定字中河原1	(024)956-8641
桜の聖母短期大学図書館情報センター	960-8585	福島市花園町3-6	(024)534-7137
福島学院大学図書館情報センター	960-0181	福島市宮代乳児池1-1	(024)553-2087

## 第62回東北地区大学図書館協議会



岩手県立大学 谷口 学長



岩手県立大学 細江 メディアセンター長



東北大學 野家 館長



学術奨励賞表彰



第62回総会風景



国立部会風景



公立部会風景



私立部会風景

# 教職員秘書向けの図書館講習会

## －東北大学附属図書館工学分館における講習会活動の報告－

東北大学附属図書館工学分館情報教育支援ワーキンググループ

東北大学附属図書館工学分館は、東北大学最大の組織である工学研究科をはじめとし情報科学研究科、環境科学研究科を含めた南青葉山地区の部局をサービス対象としている。工学分館は平成17年度から情報リテラシー教育の活動を開始し、平成19年度から教職員秘書向けの講習会を開始している。

本稿ではこの教職員秘書向け講習会を中心に、これまでの情報リテラシー教育活動を報告したい。

従来、学生・院生に対する情報リテラシー教育や、教員に対する利用教育については様々な議論や報告がある。しかし研究室秘書や職員に対する図書館の講習会活動の事例はそう多くない。

この試みの特徴的な点は、従来利用教育の対象ではない研究室秘書・職員に対して講習会を行うということである。また狙いの特徴としては彼らが学術情報の取り扱いを熟知することで、教育・研究がさらに活性化されること、そして「知の経営体」である大学を図書館から更にもり立てる事を目指した点である。

### 1. 工学分館について

工学分館は、東北大学の南青葉山地区に位置し、工学部・工学研究科などをサービス対象としている。



工学分館正面玄関

工学分館が管掌する部局は工学部・工学研究科をはじめ情報科学研究科、環境科学研究科、未来科学技術共同研究センターなどの複数にわたる。工学研究科だけでも学生・院生数は約5千7百人、教員数は約4百人と、合算

すると約6千人でこれは一つの大学規模の大きさに匹敵する。

このように工学分館のサービス対象部局と構成員数の多さが、工学分館の規模を他の中小大学図書館と遜色ないものにしている。工学分館の蔵書数は約32.4万冊、雑誌数約7千冊(平成19年5月1日現在)で職員は18名(正職員10名、非常勤8名)、年間入館者数は約10万名(平成18年度)にも及ぶ。

工学分館の課題は、以上のような大所帯を相手に良質なサービスを提供しつつ、利用を促進させること、そして管掌地区内での認知度を更に高める事に集約される。

### 2. 工学分館の情報リテラシー教育関連業務の取り組み

工学分館では、平成17年度まで定期的な利用者教育講習会を行っておらず、工学部の学生は本館での講習会に出席するしかなかった。この状況の改善を目指し、平成17年度6月から工学分館を会場とした「理工系学生のための講習会」を開始した。<sup>1</sup>

試行錯誤の後、平成18年度に開催した内容は、I「上手なレポートの作り方」(40分) II「上手な文献の探し方」(50分)の2コマを続けて講習するものとした。

この「レポート作成法の講習会の後に文献探索の講習会を行う手法」については、見慣れない方も多くいるだろう。これは実際の学生達が、まずレポート・論文などの課題に直面し、その作成に向けて情報探索をはじめるという情報行動の流れに、図書館の講習会も合わせたものである。つまり「課題(レポート・論文の書き方)」を取り口にして、その後に具体的な「情報探索」を講習するという考え方である。<sup>2</sup>

しかし本稿ではこの件について紹介するのが主意ではないので、この点については参考論文を一読されたい。

<sup>1</sup> 工学分館での講習会活動について詳しくは、「図書館講習会の新機軸—工学分館講習会、2年間の試みー」『木這子』31(4),2007を参照されたい。

<sup>2</sup> 米澤誠「レポート作成を起点とした情報リテラシー教育の試み」『医学図書館』54(2),p.160-p.165,2007

次に講習会の運営体制であるが、当初米澤誠氏（当時当分館管理係長 現山形大学学術情報部学術情報ユニット長）ほか数名の有志で開催していた。

しかし本来業務との兼ね合いから有志のみで開催には限界が出てきた。そのため、管理、整理、運用系の正職員全員が参加する「工学分館情報教育支援ワーキンググループ」を設置した。これにより安定的な講習会運営体制が築かれると共に、情報リテラシー教育関連業務を分館全体で盛り上げる方向性が確認された。

### 3. 秘書講習会の企画立案

秘書講習会は、平成18年度の冬にこのワーキンググループ会合で発案されたものである。

その当時は、学生を対象とした前述の講習会を安定して開催することを成功させていたのだが、それと並行して参加者数の更なる確保に向けて様々な案を模索している所であった。その中に秘書や職員を対象とする講習会の案もあった。結果、この案が採用されるのであるが、これには全学的な方針と大いに関係があるのである。

ちょうど同時期に本学の井上総長から「井上プラン」という東北大学の今後示すものの指針が打ち出された。の中には、事務職員を積極的に大学運営に参画させるべきで、それにより大学の研究活動を活性化するという考え方、つまりイコールパートナーの精神が示されていた。<sup>3</sup>

その方針と合致するもので、工学分館は何ができるのかと考えると、研究室の秘書業務を行っている職員に、図書館や情報リテラシー教育の内容を習得してもらうような事業を行うのはどうか、という事になったのである。

言い換えると、研究室秘書が東北大学という「知の経営体」に「知的側面」から参入する業務を行うために、工学分館が講習会でその支援ができるかもしれないと考えたのである。

この秘書とは主に研究室の庶務を行う事務補佐職である。図書館に関連する業務としては図書の館外貸出や文

---

3 総長メッセージ－2007年 新年の抱負（井上明久）

「知の経営体」においては、教員のみならず事務職員、技術職員がイコールパートナー精神の下で本学の同窓生および地域の人々と協調して本学を発展させることが重要であると思っています。このためには、大学の管理、運営面に、教員の外に事務職員が積極的に参画し、貢献することを求めたいと思います。」

[http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/newyear2007\\_profile1-3.htm](http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/newyear2007_profile1-3.htm) (H20.2.26閲覧)

献複写受領の代行を行っている。しかし資料検索の方法や図書館の使い方自体についてはよく理解している者は少ない。恐らく教員からの指示に従って図書館を使っているのみである。

もし工学分館がこの層に講習会を開くならば、主体的な情報探索が可能となり、教員からの指示に対しても今まで以上に柔軟な働きができることが予想される。その結果教員は今まで以上に秘書を介して図書館から情報を引き出すことが可能となるだろう。それが実現すれば研究の活性化に図書館が役立つことができるのではないかと結論づけた。

ワーキングで試行を決定してからは、具体的な講習会内容を詰めるために、附属図書館職員に異動していた秘書経験者と、その後任の現役秘書、その研究室の教員の3名に次のような聞き取り調査を行った。

- ① 秘書が行う図書館に関する業務
- ② 秘書はどのくらい図書館の事を知っているか
- ③ 業務が比較的忙しくない時期
- ④ (教員向け)教員が秘書に期待する図書館関係業務について

回答では、図書館関連業務を研究室で行うのは主に院生や学生が多く、秘書は研究室の庶務業務に係わる時間が多いくことであった。

とはいえたが、教員は職員である秘書に仕事を頼みやすいのであるが、文献探索関連業務については秘書が図書館について詳しく述べて仕方なく院生に頼んでいた側面もあつたらしい。これからは秘書に業務を頼むことができるようになるので楽になるかもしれないという意見もあった。

そのほか論文データベースの使い方を秘書に伝授してもらうことで、教員が院生に依頼できない人事関係用論文業績リストを作成させることができる、という意見もあった。また、秘書の業務が比較的忙しくない時期は、年度末であり、年度が変わると庶務業務で忙しくなるとのことであった。

### 4. 秘書講習会の試行

以上の聞き取りを元に、平成19年3月に試行を開催する事になった。内容は、図書館をより使いこなして欲しい気持ちを込めて館内案内と利用案内を1コマとし、2コマ目は業績リストの作成で使われることが多い理工系のオンラインデータベースの解説を行うこととした。業績リストは英語論文について集めることが多く、また引用数などの影響力も考慮されることがあるとのことなので、THOMSON

SCIENTIFIC 社の Web of Science の解説を中心とした。表題は前者を I 「図書館利用案内」、後者を II 「理工系データベースの使い方（外国語論文）」とした。

時間については研究室の業務を妨げない程度の時間ということで、各コマ 1 時間とし 2 週連続で同じ曜日の同じ時間に開催した。

これらの事前検討と準備を経て「理工系秘書のための図書館講習会」と題した、最初の講習会を開催した。

開催の結果、2 日間で延べ 10 名の参加者がありアンケートの中にも、「とても助かりました。またよろしくお願ひします。」「このような講習会があって、とても良かったです。ありがとうございました。」という好意的な感想を得る事ができた。

## 5. 秘書講習会の本格実施

試行後の反省で「秘書」のみをタイトルに冠すると潜在的な参加者である教員や職員を排除してしまうという指摘がワーキングであった。それを受け、教員の中でも新任や他大学からの異動者は図書館サービスに知りたいだろうし、職員の中でも研究室に近い業務を担当している者は同じく考えるだろうということで、この講習会の対象者を拡大した。

そして平成 19 年度 6 月から「教職員秘書向けの図書館講習会」とタイトルを修正し、試行開催の内容も対象者も拡大して本格実施することにした。

本格実施の内容は次の点を変更した。まず試行開催でのアンケートから希望者が多かった、「図書・雑誌の検索手法について」を内容に盛り込む事にした。そのためコマを 3 コマに増やし、I, 「図書館利用案内」、II, 「上手な文献の探し方（図書・雑誌論文の探し方。）」、III, 「理工系データベースの使い方（Web of Science）」とし、開催期間も 3 週連続に変更した。



講習会 1 日目ー図書館利用案内

平成 19 年 3 月の試行開催と平成 19 年 4 月以降の正式開催で次のような参加者数を得ることができた。

月	3 月	6 月	7 月	11 月	1 月	3 月	合 計
人 数	10	8	7	4	15	1	44

表 平成 19 年 3 月ー平成 20 年 1 月参加者  
※人数は延べ人数

この結果から、年間を通して参加者がばらつく傾向があり、概して上半期に参加者が多く集まる傾向が分かる。要因としては新規採用になった教職員・秘書が上半期に参加することが挙げられる。

1 月の 15 名だが、当分館の広報を拡大したことが要因である。平成 19 年末から広報にメールを使い、各研究室の教員に情報がより伝わるようにしたのだが、早速 1 月の参加者増という結果に繋がった。そのため 1 月は業務に余裕がある月といった時期的な問題が参加者を増やした訳ではない。



講習会 2 日目ー上手な文献の探し方

3 月末は平成 18 年度末と平成 19 年度末とを比べると非常に特徴的である。18 年度末 10 名に比べて 19 年度末は 1 名と大幅に減少している。これは昨年の試行が初めての秘書講習会だったので、熱意ある参加者が一齊に集まったのに対し、19 年度は年間を通して開催したので熱意ある参加者は、各回に拡散して参加したのではないかと見ている。先に挙げた平成 19 年 1 月の事情も同じ様に考えると、年度当初から充実した広報を行えば、参加希望者は上半期開催の講習会に参加するので、年度末の開催は縮小しても良いと考える事ができる。

試行の前の事前調査では、年度末が一番の閑散期であるので参加しやすい、という意見があったが、これは局地的なケースであるようだ。年度当初が一番の閑散期で

ある、という研究室も中にはある事が後に判明したので、研究科全体では共通して閑散期と繁忙期が決まっている訳ではないことがわかった。

## 6. 今後の課題

最後に、これまで教職員・秘書向け講習会を開催して直面した課題を列挙して本稿を終わろうと思う。

### I. アンケートの結果から

各講習会の終わりには必ずアンケートを取るようにしているが、特に次の点を注意して尋ねた。

- ① 難易度の高低
- ② 時間数の長短
- ③ 用意した内容以外に習いたい講習内容

これは秘書や教職員が、こちらの用意した講習内容で満足しているのか、非常に簡単もしくは非常に難解な内容になって意欲が低下していないか、そして準備した内容よりも聞きたい事があるのではないかという動機で調べている。

これらのアンケートから有益な意見を数多く集めることができた。本稿でその全てを紹介するのは紙幅の関係で割愛するが、特徴的なものを上記の項目に従ってピックアップしてみたいと思う。

#### ① 難易度について

難易度については、「簡単・分かった・難しい」の3段階に分けてアンケートを取った。その内約半数が「分かった」を回答していた。また「簡単」と回答したのは全体の約4割弱ということで、どちらかというと講習内容については参加者にとって分かり易いものと考えられた。

若干数の回答があった「難しい」であるが、これは特に3日目の Web of Science 講習会に集中している。この回の内容をいくらか改善する必要がある。

#### ② 時間数の長短について

(特に2, 3日目)時間が短い、実習の時間がもっと欲しい、という意見が散見された。理解としてはまあまあ理解できたようなのであるが、実習の時間を現状より長くして、体験を通して技術を身につけたいと考えているのかもしれない。次年度以降の課題で、実習時間をいくらか増やす方向で検討してみたい。

#### ③ 用意した内容以外に習いたい講習内容

次に参加者がさらに受講したいと考えている講習会について紹介したい。

参加者がさらに受けたい内容として「ネット検索術」を挙げている件数が多かった。

ネット検索術は、これだけ Google 等の検索エンジンが隆盛を極める時代にとって無視できない声と感じ始めている。検索ボックスに検索語を入れることで簡単に使える検索エンジンに教える事があるかというと、漫然と検索語を打ちこむ事以外にも検索エンジンには利用のコツがあり、皆が全てを使いこなしているとは思えない。

無料の学術情報や情報源、各種データなどを入手するテクニックや、検索エンジンの便利な付随機能など、図書館が情報リテラシー教育の一環で講習会を行う内容としては遜色がないのである。検索エンジンは決して図書館システムではないが、それほど学術情報検索での有効なツールと化している。

具体的には検索エンジンについての数多く出版されている解説書を使って、その内容をダイジェストして講習会を行う事が可能である。そのため学生向け講習会を含めて、この要素を取り入れることを今後検討課題としてみたい。

### II. ヒアリングの結果から

現在の3週間3コマ体制は、まだ手探りの状態である。アンケートや各種マーケティングで、分館側の考えと参加者層の間をもっと埋めなくてはならないと考えている。この点については現在ワーキンググループで研究室ヒアリングというものを行っている。これは工学研究科等の教員の中からピックアップし、ワーキングのメンバーが二人一組で話を聞くものである。約1時間前後、図書館が行っている情報リテラシー教育活動を中心として、様々な意見交換を行うことしている。その中で教職員秘書講習会の魅力を高める方策について、教員からの意見を収集している所である。この意見の中から有益な物を選択して、この講習会を見直すつもりである。

### III. 講習した内容が活用されているかについて

情報リテラシー教育は現在の日本の図書館界では比較的新しい内容であるためか、課題としては、いかに図書館が情報リテラシー教育に関わるのかについての論説が多い。しかし講習会後に伝授した内容を実際に活用しているかについては、追跡調査を行わないので分からないままである。

この教職員秘書講習会についても、教員・職員・秘書が、講習会後に図書館を活用できるようになったのかを知りたい。

そこで講習後に工学分館をさらに使う様になった秘書に感想を聞く機会を得た。

- ・(問) 講習会を受けた後、できるようになった事は何か  
(回答) 図書と雑誌の違いや検索システムを理解し、文献収集を短時間で行う事ができるようになった
- ・(問) 研究室業務の中で、可能になった業務は何か  
(回答) 主に文献収集と図書検索が可能になった
- ・(問) 講習会後に図書館に聞く必要がある業務が存在したか、存在すればそれは何か  
(回答) あり。研究室の教員の英語論文業績とその被引用情報を調べる業務である
- ・(問) 教職員秘書講習会の感想について  
(回答) 図書館システムの機能は豊富であるのに比べて時間の制限のせいか、講習会内容が薄く感じられた、項目別講習会に改編してはどうか

以上の「図書と雑誌を区別」し「文献収集と検索を短時間で行う」事が可能になったという回答は、我々が当初課題とした「秘書が情報探索を可能とすることによって、東北大学の研究を活性化させる」という目標を幾らか達成できたを感じた。

しかし、引用情報について再度図書館に尋ねている事を見ると3コマ目のWeb of Scienceの講習会に未だ改善の余地があることが分かる。また最後の回答にもあるように、限られた時間の中でWeb of Scienceを講習し

てしまうことから、「内容が薄い」講習会という印象を与えてしまったと考えられる。

現在の番組内容を以上の感想に基づいて修正し、充実させて行きたい。

#### IV. 集客力を高める広報

この講習会については、集客力にまだ不満が残る。同じくヒアリングで分かったことだが、1年開催してきたものの、まだ認知度が低いのである。ヒアリングの中でこの企画についてはじめて知ったという教員も多く、ぜひ自研究室の秘書を参加させたいという反応もあった。今後も一層の認知度向上のため、魅力溢れる広報を目指したいと思う。

以上4点の課題を挙げたが、これらの課題に基づいて今後も「知の経営体」である東北大学を図書館ができるまで活性化させるよう目指して行きたいと考えている。まだこの講習会を始めて1年強である。ゆえに展開の可能性が大いにあるかと思う。読者の皆様にも御批評を頂けると幸いである。

最後に、ワーキンググループのメンバーをはじめとした工学分館職員の皆様にこの場を借りて、情報リテラシー教育活動への協力について厚く御礼申し上げます。

(文責 吉植 庄栄)

# 第 62 回東北地区大学図書館協議会総会日程

開催期日 平成 19 年 9 月 20 日 (木)

会場 岩手県民情報交流センター「アイーナ」8階 研修室 812

盛岡市盛岡駅西通 1 丁目 7 番 1 号 TEL 019-606-1717 FAX 019-606-1716

当番地区 岩手地区

当番館 岩手県立大学

日程

1. 受付 12:30 ~ 13:00

2. 開会式 13:00 ~ 13:20 8階 研修室 812

(1) 開会の挨拶

当番館 岩手県立大学メディアセンター  
メディアセンター長 細江達郎

(2) 歓迎のことば

当番大学 岩手県立大学  
学長 谷口 誠  
(3) 挨拶  
常任幹事館 東北大学附属図書館  
館長 野家 啓一

3. 議長団選出

4. 総会

(1) 報告事項 13:20 ~ 13:40

- ① 平成 18 年度学術奨励賞について
- ② 平成 18 年度会務報告について
- ③ 平成 18 年度一般報告及び各部会報告について
- ④ ウェブサイト開設WGからの報告について
- ⑤ 平成 18 年度決算報告について
- ⑥ 平成 18 年度記念事業基金積立決算報告について
- ⑦ 平成 18 年度会計監査報告について
- ⑧ その他
  - ・メールによる文献複写物の送付について

(2) 協議事項 13:40 ~ 14:10

- ① 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程の改正について
- ② 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項の改正について
- ③ 東北地区大学図書館協議会表彰規程の改正について
- ④ 東北地区大学図書館協議会の研修について
- ⑤ 平成 19 年度事業計画 (案) について
- ⑥ 平成 19 年度予算 (案) について
- ⑦ 平成 19 年度記念事業基金積立予算 (案) について
- ⑧ 第 63 回総会の当番地区 (館) について
- ⑨ 平成 19 年度合同研修会について

⑩ 役員館の改選について

(3) その他

5. 平成 18 年度永年勤続表彰について

6. 部会 14:10 ~ 15:40

国立大学部会 8階 会議室 801

公立大学部会 8階 研修室 815

私立大学部会 7階 学習室 1(アイーナキャンパス内)

<休憩 10 分 >

7. 全体会議 15:50 ~ 16:50 8階 研修室 812

(1) 各部会からの報告

(2) 協議題等に関する質疑応答

8. 閉会式 16:50 ~ 17:00

(1) 次期当番館あいさつ

(2) 閉会のあいさつ

岩手県立大学メディアセンター

メディアセンター長 細江達郎

# 第62回総会資料

## 平成18年度学術奨励賞について

(審査主査館：仙台大学)

東北地区大学図書館協議会学術奨励賞規程第2条第2号に基づき推薦のあった下記論文について、論文審査委員会において審査した結果、学術奨励賞を授与することを決定した。

### ○ 山形大学附属図書館推薦論文

#### 1 論文タイトル名

ウェブサイト「紅花の歴史文化館」及び論文「山形大学附属図書館の紅花プロジェクト」

#### 2 受賞者

山形大学紅花プロジェクト実施ワーキンググループ

#### 3 審査結果

豊かな文化遺産としての「紅花」に関する資料を、地域社会との連携を深めながら、総合的に整備・検討し、その文化史的価値を闡明した労作である。大学の使命の一つとして社会的貢献が挙げられるが、それを大学図書館の立場から実践し得たことは高く評価されるべきである。さらにこれは研究資料の整備のみならず、生涯学習・総合学習へと広がりを見せていく。大学図書館として新しい方法と分野を開くものといってよい。2年間にわたり絵画資料や古文書など学内外の資料を調査し、画像データと文献データとして公開にこぎつけている。その間の困難な接衝に費やした努力も多とすべきである。

## 会務報告

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

昨年9月宮城大学を当番館として開催された第61回総会以降の会務については、次のとおりである。

#### 1 平成18年度末加盟館数

本協議会の加盟館数は、第61回総会以降、聖和学園短期大学が新たに加盟したことにより現在、国立15館、公立12館、私立34館 計61館となっています。

#### 2 平成18年度東北地区大学図書館協議会合同研修会実施状況

期　　日：平成19年7月26日（木）13時～16時

会　　場：会津大学研究棟3階 M12中講義室

テ　　マ：今後の大学図書館利用者サービスのあり方を探る  
－ 多様化する情報メディアの中で –

基調講演：「大学図書館における今後の設計：いくつかの調査に基づいて」

筑波大学図書館情報メディア研究科教授

永田 治樹 氏

事例発表：

1) 「富士大学における利用指導の実状について」

富士大学附属図書館図書課長

井手 俊一 氏

2) 「学習環境の改善による集客力の向上」

山形大学学術情報部情報サービスユニット

利用者サービスチームリーダー

津田 ひろ子 氏

参 加 者：国・公・私立大学等加盟25館から33名

#### 3 会誌の発行

東北地区大学図書館協議会誌第58号は、平成19年6月に450部発行し、加盟61館及び関係機関等へ発送した。

#### 4 幹事会について

(1) 平成18年12月26日（月）

（於：東北大学附属図書館）

① 東北地区大学図書館協議会学術奨励賞規程の改正について

② 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項の改正について

③ 東北地区大学図書館協議会表彰規程の改正について

④ その他

(2) 平成19年8月2日（木）開催

（於：東北大学附属図書館）

① 第62回総会及び部会の議題等について

② その他

(3) 平成19年9月20日（木）開催

（於：岩手県民情報交流センター「アイーナ」）

① 第62回総会及び部会の運営について

② その他

#### 5 永年勤続表彰について

次の者（4名）を表彰該当者として、退職時に所属図書館を介して表彰状及び記念品の贈呈を行った。

元岩手大学研究交流部情報メディア課図書館資料管理グループ主査

佐々木 厚子 氏

元東北大学附属図書館医学分館運用係員

吉川 文子 氏

元東北大学附属図書館工学分館整理・運用係長

及川 恵美子 氏

元東北大学附属図書館工学分館整理・運用係員  
菅原 育子 氏

#### 6 学術奨励賞について

山形大学附属図書館から応募があり、審査館において審査した結果、学術奨励賞を授与することを決定した。

#### 7 記念事業基金の造成について

平成18年度通常会計から記念事業基金として、91,500円を繰り入れた。

#### 8 平成18年度会計監査について

9月12日東北大学附属図書館において、会計監査館岩手県立大学及び東北福祉大学図書館による会計監査を受けた。

### 一般報告

——国・公・私立大学図書館の動き——

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

#### ○会議等関係

1. 外国雑誌センター館会議について
2. 日本医学図書館協会総会について
3. その他

#### ○研修・講習会等関係

##### 1. 目録システム講習会

[図書コース]

期 間：第1回 平成19年5月23日（水）  
～5月25日（金）  
第2回 平成19年6月27日（水）  
～6月29日（金）  
第3回 平成19年8月29日（水）  
～8月31日（金）  
第4回 平成19年10月3日（水）  
～10月5日（金）  
第5回 平成19年10月31日（水）  
～11月2日（金）  
第6回 平成19年12月12日（水）  
～12月14日（金）

[雑誌コース]

期 間：第1回 平成19年5月30日（水）  
～6月1日（金）  
第2回 平成19年6月20日（水）  
～6月22日（金）  
第3回 平成19年7月18日（水）  
～7月20日（金）  
第4回 平成19年10月17日（水）  
～10月19日（金）

場 所：国立情報学研究所

#### 2. 目録システム地域講習会

[図書コース]

期 間：平成19年5月30日（水）  
～6月1日（金）

場 所：東北大学附属図書館

[雑誌コース]

期 間：平成19年7月25日（水）  
～7月27日（金）

場 所：東北大学附属図書館

#### 3. ILLシステム講習会

期 間：第1回 平成19年6月7日（木）  
～6月8日（金）

第2回 平成19年7月12日（木）  
～7月13日（金）

第3回 平成19年12月6日（木）  
～12月7日（金）

場 所：国立情報学研究所

#### 4. 情報セキュリティ担当者研修

期 間：平成19年7月4日（水）  
～7月6日（金）

場 所：外部会場を使用して開催する（東京都内）

#### 5. 学術ポータル担当者研修

期 間：平成19年8月22日（水）  
～8月24日（金）

場 所：国立情報学研究所

#### 6. 学術情報リテラシー教育担当者研修

期 間：平成19年11月7日（水）  
～11月9日（金）

場 所：国立情報学研究所

#### 7. 大学図書館職員短期研修

期 間：平成19年11月13日（火）  
～11月16日（金）

場 所：東京大学

#### 8. ネットワークセキュリティ担当者研修

期 間：平成19年7月25日（水）  
～7月27日（金）

場 所：外部会場を使用して開催する（東京都内）

#### 9. ネットワーク管理担当者研修

期 間：平成19年7月18日（水）  
～7月20日（金）

場 所：外部会場を使用して開催する（東京都内）

#### 10. 平成19年度大学図書館職員長期研修

期 間：平成19年7月2日（月）  
～7月13日（金）

- 場 所：筑波大学
11. 平成19年度漢籍整理長期研修  
期 間：平成19年 6月19日（月）  
～9月 7日（金）  
場 所：東京大学大工学部ほか
12. 平成19年度漢籍担当職員講習会（初級・中級）  
期 間：初級 平成19年10月 1日（月）  
～10月 5日（金）  
中級 平成19年11月 5日（月）  
～11月 9日（金）  
場 所：京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター
13. 第26回西洋社会科学古典資料講習会  
期 間：平成19年11月 6日（火）  
～11月 9日（金）  
場 所：一橋大学佐野書院
14. 第8回「西洋古典資料保存講習会」  
期 間：平成19年 7月23日（月）  
～7月25日（水）  
場 所：一橋大学附属図書館

## 国立部会関係

（幹事館：東北大学）

- 第5回国立七大学附属図書館長会議  
(平成18年 9月28日 大坂大学)

### 協議事項

1. 基盤的図書館経費の共通経費化について
2. 今後の国立大学図書館の共通課題について
3. 情報関連組織との統合・連携の狙いとメリット・デメリット並びに運用上の留意点
4. 国立大学における図書館組織の位置付けについて

- 第39回国立七大学附属図書館部課長会議  
(平成18年 9月28日 大坂大学)

### 協議事項

1. 図書系職員の確保・育成
  - ・図書系職員の人材育成とキャリアパスについて
  - ・総人件費改革への対応について
  - ・図書系職員の専門性とキャリアパス一人材確保・育成
  - ・図書系幹部職員の確保について
2. 学術雑誌及び電子ジャーナル
  - ・学術雑誌の将来と全学的な雑誌経費の効率的運用
  - ・電子ジャーナル契約の今後の在り方について
3. 国立情報学研究所との連携強化について

- 第80次国立七大学附属図書館協議会  
(平成18年 9月28日 大坂大学)

### 協議事項

1. 学術情報基盤に関わる総合的な基本戦略策定の取組について
2. 国立大学における図書館組織の位置付けについて
3. 図書館における広報のあり方について
4. 機関リポジトリ
  - ・機関リポジトリの管理・運営にかかる図書館の役割及び活動状況について
  - ・機関リポジトリの推進～コンテンツ拡大方策について

- 平成18年度国立大学図書館協会東北地区協会事務連絡会議  
(平成18年11月28日 弘前大学)

### 協議事項

1. 東北地区における職員育成等のあり方について
2. フレッシュ・パーソンセミナーの開催計画について
3. 機関リポジトリ構築の進捗状況について
4. 東北地区大学図書館協会のあり方について
5. 平成20年度国立大学図書館協会総会の当番大学について
6. メールによる文献複写物の送付について
7. その他
  - ①平成18年度東北地区大学図書館課題検討ゼミナールについて
  - ②事務連絡会議の開催当番館の順番について

- 第38回東北地区国立大学図書館協会総会

(平成19年 4月19日 弘前大学)

### 協議事項

1. 東北地区における人材確保のあり方について
2. 東北地区における職員研修のあり方について
3. 東北地区国立大学図書館におけるメールによる文献複写物の送付及び紀要等学内刊行物の電子化の促進について
4. 学術情報基盤に係る経費確保の方策等について
5. 平成20年度国立大学図書館協会総会の当番大学について
6. 第54回国立大学図書館協会総会に向けての準備事項について
7. 国立大学図書館協会東北地区協会理事館・当番館の確認について

## ○第54回国立大学図書館協会総会

期　　日　平成19年6月28日  
会　　場　J A L リゾート シーホークホテル福岡  
当番地区　九州地区  
当　番　館　九州大学附属図書館

### 協議事項

1. 平成19年度理事館一覧（案）
2. 平成18年度決算報告（案）・財産目録（案）
3. 国立大学図書館協会記念基金平成18年度決算報告（案）・財産目録（案）
4. 平成19年度事業計画（案）
  - ・人材委員会の常置化について（案）
  - ・人材委員会設置要項（改正案）
  - ・学術情報委員会設置要項（改正案）
  - ・平成19年度国立大学図書館協会シンポジウム企画書（案）
5. 平成19年度国立大学図書館協会予算（案）について
  - ・平成19年度予算（案）
  - ・国立大学図書館協会基金平成19年度予算（案）
6. 第54回総会ワークショップ
  - (1) 平成19年度事業計画（案）  
　　総務委員会、国際学術コミュニケーション委員会、人材委員会及び学術情報委員会の活動方針を確認
  - (2) マネジメント・セミナーの開催について  
　　期　　日：6月27日（水）  
　　会　　場：福岡システムL S I 総合開発センター  
　　会議室A・B  
　　テーマ：「大学経営からみた図書館」
  - (3) 国立大学図書館協会シンポジウムの開催について  
　　西日本会場：大阪大学附属図書館  
　　平成19年9月5日（水）  
　　東日本会場：筑波大学附属図書館  
　　平成19年9月19日（水）
  - (4) 電子ジャーナル・タスクフォース地区説明会の開催について
  - (5) 第54回総会ワークショップ
    - ① 図書館組織、人事制度の在り方、人材育成の方策等について
    - ② 今後の図書館システムと利用者サービスの方向性について
    - ③ 機関リポジトリの運営・推進について

## ○平成19年度外国雑誌センター館会議

（平成19年5月17日 東京工業大学）

### 協議事項

1. 外国雑誌センター館の活動評価について
2. 各館の概要及び活動報告について
3. 文献複写の電子的送信（D D S）に係る受付館業務について
4. 外国雑誌センター館の広報活動について
5. その他

## 公立部会関係

（幹事館　宮城大学）

## ○平成19年度公立大学協会図書館協議会事務長会・総会

期　　日：平成19年5月31日（木）～6月1日（金）  
会　　場：福岡県福岡市　福岡リーセントホテル  
開　催　館：福岡女子大学附属図書館

### <事務長会>

#### 報　　告

「ICOLOC第8回ヨーロッパ大会参加報告」

　　大阪大学学術情報センター　学術情報課総括主査  
　　赤崎　久美　氏

#### 事例発表（不参加のため中止）

「法人採用専任司書職員による主題別レファレンスサービスを目指した環境作り」

　　横浜市立大学学術情報センター　学術情報担当課長  
　　三輪　道夫　氏

### <総　　会>

#### 文部科学省行政説明

　　文部科学省研究振興局情報課学術基盤整備室情報研究推進専門官

　　膝館　俊　氏

#### 基調講演

「公立大学図書館の現状と今後の課題」

　　福岡女子大学副理事長

　　齋藤　明　氏

### <拡大役員会>

#### 報告事項

1. 平成18年度事業報告
2. 平成18年度決算報告及び監査報告
3. 相互協力委員会報告
4. H P 委員会報告
5. 事務長会報告
6. その他

#### 協議事項

1. 平成19年度事業計画（案）について

2. 平成19年度予算（案）について
3. 公立大学協会図書館協議会表彰規程による表彰について
4. 公立大学協会図書館協議会研修会について
5. 筑波大学主催大学図書館職員長期研修参加者の推薦について
6. 平成19年度相互協力委員会について
7. 平成19年度HP委員会について
8. 役員の選出について
9. 関係委員会委員等の推薦について
10. その他

○平成19年度公立大学協会図書館協議会研修会

期　　日：平成19年8月3日（金）  
 会　　場：愛知県名古屋市　公立大学法人名古屋市立  
 　　　　大学総合情報センター  
 開　　催　　館：公立大学法人名古屋市立大学附属図書館  
 テ　　マ：「大学図書館と公共図書館　－地域内連携  
 　　　　の試みー」

講　　演  
 「公立大学図書館サイト診断　－理想の図書館サイ  
 　トを求めて」  
 Academic Resource Guide

岡本　真氏

「ウェブチュートリアルKITIEについて」  
 慶應義塾大学信濃町メディアセンター

市古　みどり氏

基調講演「大学図書館は学術コミュニケーションの  
 変革の中でどのように変わってゆくのか」  
 国立大学法人千葉大学

竹内　比呂也　准教授

事例報告等

愛知芸術文化センター愛知県図書館

村上　昇平氏

国立大学法人鳥取大学附属図書館

森田　正氏

○平成19年度公立短期大学図書館協議会総会

期　　日：平成19年8月24日（金）  
 会　　場：静岡県立大学短期大学部  
 開　　催　　館：京都市立看護短期大学附属図書館  
 講　　演  
 「選書が拓く、学習支援とのリンク」  
 同志社大学総合情報センター

井上　真琴氏

報告事項

1. 役員紹介
2. 平成18年度事業報告及び決算報告
3. 平成18年度地区協議会活動報告
4. 平成19年度地区協議会活動報告

協議事項

1. 平成19年度事業計画及び予算（案）
  2. 平成19年度役員館（案）について
- その他
1. 役員館の輪番の確認について

○平成19年度公立短期大学図書館協議会職員研修会

期　　日：平成19年8月23日（木）～24日（金）

会　　場：静岡県立大学短期大学部  
 開　　催　　館：静岡県立大学短期大学部附属図書館  
 講　　演

「選書が拓く、学習支援とのリンク」  
 同志社大学総合情報センター

井上　真琴氏

調査報告

「公短団協分類別貸出統計調査報告」  
 川崎市立看護短期大学図書館

野村　充氏

「資料比及び雑誌選定に関する調査報告」  
 長野県短期大学附属図書館

柳沢　磨三代氏

実務演習

「電子ジャーナルの使い方」（希望者のみ）  
 グループ討議・情報交換

○平成19年度公立大学協会図書館協議会東部地区館会議

期　　日：平成19年8月24日（金）

会　　場：青森市　青森県立保健大学  
 開　　催　　館：青森県立保健大学附属図書館  
 協議（確認）事項

1. 「東部地区における役員ローテーションについて」
2. 「『知る権利』と『個人情報保護』について、名簿の複写はどこまで可能か」  
 （岩手県立大学メディアセンター）

承合事項

1. 「他図書館との連携」  
 （公立はこだて未来情報ライブラリー）
2. 「オンラインジャーナルの導入状況について」  
 （岩手県立大学メディアセンター）
3. 「機関リポジトリについて」

## 私立部会関係

(幹事館：岩手医科大学・東北学院大学)

○私立大学図書館協会の活動（東地区部会を主として）

I. 加盟校（2006年度承認）：496校（東地区校249校、西地区校247校）

\*東北地区の加盟校

秋田看護福祉、石巻専修、いわき明星、奥羽、郡山女子、尚絅学院、仙台白百合女子、東北学院、東北芸術工科、東北工業、東北女子、東北福祉、東北文化学園、東北薬科、日本（工）、ノースアジア大学、八戸工業、八戸、東日本国際、富士、宮城学院女子、盛岡

（以上22校）

○2006年度東地区部会総会

日 程：2006年6月9日（金）10：00～11：30

会 場：鶴見大学 鶴見大学会館B1メインホール

参加数：90校 143名

議 事：2005年度東地区部会会務報告及び研究部活動報告、

2006年度事業計画、予算決定等

○2006年度東地区部会 館長会

日 程：2006年6月9日（金）12：00～13：35

会 場：鶴見大学 鶴見大学会館3階第2会議室

議 題：「図書館予算の在り方」

○2006年度東地区部会 研究講演会

日 程：2006年6月9日（金）13：45～16：45

会 場：鶴見大学 鶴見大学会館B1メインホール

講 演：

「Googleが図書館に与えるインパクト」

一橋大学総合情報処理センター 助教授

兼宗 進 氏

講 演：

「ハイブリッド環境下におけるレファレンスサービス支援ツールの開発」

慶應義塾大学文学部 教授

田村 俊作 氏

○2006年度第1回東地区部会研修会

テーマ：変化するレファレンスサービスの現状と課題

日 程：2006年9月26日（火）～9月27日（水）

場 所：慶應義塾大学三田キャンパス

基調講演：

「大学図書館のレファレンスサービスの現状と課題」

慶應義塾大学文学部 教授

大城 善盛 氏

講 演：

「デジタルレファレンスサービスについて」

明治大学文学部 准教授

齋藤 泰則 氏

ほか、講演・事例報告など

○2006年度私立大学図書館協会 第67回総会・研究大会

日 程：2006年9月7日（木）～8日（金）

場 所：関西学院大学

メインテーマ：「今、新たな大学図書館のミッションを考える」

総 会：2005年度一般会計報告・特別会計決算報告

2006年度事業計画、一般会計予算

特別会計予算、新規加盟等

記念講演：

「メートル法直前の度量衡統一構想

～関西学院大学図書館特別コレクションから～」

関西学院大学 教授

竹本 洋 氏

2005年度海外集合研修報告

報告者 魚住 英子 氏（関西学院大学図書館）

ほか3名

ほか、意見交換会、講演など

東北地区大学図書館協議会ウェブサイトWGについて

{WG委員 19年9月20日現在} \* 印はウェブ管理者

佐藤 亜紀（山形大学）

尾田 陽子、菅原透、永井伸\*（東北大学）

西戸 雅博（福島県立医科大学）

須田 充彦（東北学院大学）

稻妻 晶子（東北福祉大学）

参考…米澤誠（4/1付山形大学へ転出）

月 日	摘 要
平成19年 3月8日	第3回WG会議 1. コンテンツの収集・充実方策について 議 題 ① ニュースの内容と収集方法について ② 図書館員向けコンテンツについて 2. ウェブサイトの運営指針・更新方法について 3. 今後の活動について 出席者 東北大学4名、福島県立医科大学1名、 東北学院大学1名、東北福祉大学1名 計7名

## 8. その他

(東北大学附属図書館)

- ・メールによる文献複写物の送付について

## 協議題（総会）

### 1. 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程の改正について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

学術奨励の規程が制定されてから、40年余を経過しているが、この間この規程に基づいて表彰されたケースは、平成元年度及び18年度の3件のみである。

このような状況に鑑み、応募しやすいように同規程の改正について検討を行いたい。

なお、同規程の改正については、第61回総会において検討したが結論を出すまでには、至らなかつたので再度提案するものである。

### 2. 学術奨励賞候補論文等審査取扱要綱の改正について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

東北地区大学図書館協議会学術奨励規程が改正されることに伴い、整合性を保つため同規程を改正するものである。

### 3. 東北地区大学図書館協議会表彰規程の改正について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

第60回総会の総合討議の席で、私立部会から提案のあったものです。

具体的には、現行の20年以上勤務者という規定は、私立大学においては不可能に近いので、考慮していただきたいということでありました。

また、表彰は、本来、東北地区大学図書館協議会の運営、発展のために貢献した者等を対象にすべきであるとの意見もありました。

なお、同規程の改正については、第61回総会において検討したが結論を出すまでには、至らなかつたので再度提案するものである。

### 4. 東北地区大学図書館協議会の研修について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）では各種の図書館職員向け研修を実施してきたが、図書

館を取り巻く社会状況等を勘案すると、さらに効果的な研修を行い、持続的に職員のスキルの向上を図る必要がある。

そのため協議会内に研修検討組織を常置し、研修体系及び内容の再構築を行い、協議会加盟館員の人材育成と交流の機会を設けたい。

また、現在、各県持ち回りで行っている東北地区大学図書館協議会合同研修会の在り方も含め検討を行いたい。

## 5. 平成19年度事業計画

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

### 1) 第62回総会の開催

平成19年9月20日（木）岩手県立大学を当番館に実施

### 2) 職員の表彰

①図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等に優れた業績のあった者

②協議会の運営、発展のために功績のあった者

### 3) 学術奨励賞の表彰

### 4) 研修会の開催（国・公・私立大学合同）

開催当番 宮城地区の予定

### 5) 会誌の発行

会誌第59号 平成20年5月の予定

### 6) 記念事業基金の造成

平成19年度通常会計から記念事業基金（91,500円）を繰り入れ予定

## 協議題（総会）

### 8. 第63回総会の当番地区（館）について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

1) 福島地区（いわき明星大学）が当番となっているが、確認願いたい。

東北地区大学図書館協議会総会当番地区（館）予定  
(平成15年9月16日承認)

回	年度	当番地区	会場大学	備考
58	15	宮城	東北福祉大学	
59	16	山形	山形大学	
60	17	青森	青森大学	
61	18	宮城	宮城大学	
62	19	岩手	岩手県立大学	
63	20	福島	いわき明星大学	
64	21	宮城		
65	22	秋田		
66	23	山形		
67	24	宮城		

注：会場大学については、当該地区において協議のうえ、開催予定の前年度総会に報告するものとする。

### 2) 開催地区のローテーションの確認について

- ① 宮城地区は、他地区より大学の数も多いので3年に1回割り振る。
- ② その他の地区は、次のローテーションによる。  
青森地区、岩手地区、福島地区、秋田地区、山形地区

### 9. 平成19年度の合同研修会について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

宮城地区が開催予定になっているので、確認願いたい。  
東北地区大学図書館協議会合同研修会開催地区  
平成13年度以降の合同研修会当番予定地区

(平成12年9月20日承認)

年度	当番地区	会場大学	備考
13	宮城	東北大學	
14	青森	弘前大学	
15	岩手	岩手大学	
16	秋田	国際教養大学	
17	山形	東北芸術工科大学	
18	福島	会津大学	
19	宮城		
20	青森		
21	岩手		

注：会場大学については、当該開催地区において協議するものとする。

### 10. 役員館の改選について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

常任幹事館、幹事館、会計監査館及び論文審査館の任期（2年）満了に伴い、東北地区大学図書館協議会会則第6条及び第7条並びに東北地区大学図書館協議会学術奨励規程第3条第2項の規定に基づき各役員館の改選を、お願いしたい。

なお、重任することも可となっています。

- ① 幹事館は、国立2館、公立1館、私立2館の計5館で、そのうち1館が常任幹事館となります。
- ② 会計監査館は、公立1館、私立1館で、常任幹事館が決定した後、その館に距離的に近い大学を推薦願います。
- ③ 学術奨励論文審査館は、国・公・私2館ずつ計6館

なお、今回の総会で学術奨励関係の規程改正が承認された場合は、各幹事館が論文審査館を兼ねることになります。

従って、論文審査館は、5館となります。

## 平成18年度永年勤続表彰

元岩手大学研究交流部情報メディア課図書館資料管理グループ主査

佐々木 厚子 氏

元東北大学附属図書館医学分館運用係員

吉川 文子 氏

元東北大学附属図書館工学分館整理・運用係長

及川 恵美子 氏

元東北大学附属図書館工学分館整理・運用係員

菅原 育子 氏

## 協議題（国立・公立・私立部会）

### 1. 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程の改正について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席で提案理由説明)

### 2. 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項の改正について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席で提案理由説明)

### 3. 東北地区大学図書館協議会表彰規程の改正について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席で提案理由説明)

#### 4. 東北地区大学図書館協議会の研修について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席で提案理由説明)

#### 10. 役員館の改選について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席で提案理由説明)

### 国 立 部 会

(秋田大学附属図書館)

承合事項（部会）【別添配付資料参照】

#### 1. 学生用図書購入費について

(提案理由)

国立大学が平成16年度から法人化され、図書館の通常経費も毎年1%の節約（効率化）を求められており、年々減少する状況にあります。

本学では、学生用図書購入費については図書館予算の中で努力し、平成16年度から同額を維持してきました。しかしながら、図書館の自助努力にも限界があり、平成19年度予算については財務企画会議にて効率化係数対象外として認められ同額を維持することになりました。

昨年度も提案させていただきましたが、継続して各大学の状況を把握し、今後の予算措置の参考とさせていただきたく、下記の事項についてご教示願います。

記

回答大学名

学生用図書購入費について

区分	18年度	19年度	備考
学生数 学部学生	人	人	
大学院生	人	人	
学生数計	人	人	
年間購入冊数	冊	冊	
学生用図書購入費総額	千円	千円	
学生1人当たりの金額	円	円	

- 注 ① 学生用図書購入費総額は、図書館予算又は図書館で所管する全学共通経費のうちの学生用図書購入費を記入願います。  
学部（部局）予算で購入する分は含まないで下さい。
- ② 平成19年度分で、未定の事項については記入不用です。

### 平成18年度永年勤続被表彰者紹介

1. 氏名 佐々木 厚子 氏

(昭和22年3月16日)

元岩手大学研究交流部情報メディア課図書館資料管理グループ主査

#### ●推薦理由

佐々木厚子氏は、昭和44年6月東京大学に採用され、その後、昭和55年4月岩手大学に異動となり、平成19年3月末の定年による退職まで、岩手大学においては27年の永きにわたり図書館業務に携わってきました。

この間、岩手大学において目録業務や閲覧業務など様々な図書館業務に従事し、その貢献は多大なものがあります。豊富な経験と知識を活かし、図書館の中心となって教職員や学生に対する奉仕に誠心誠意あたられ、平成8年4月学術情報係長に昇任以後は、雑誌情報係長、図書情報係長を歴任し、その手腕を遺憾なく発揮されました。平成14年4月以降、データの整理、作成、入力の要となって指導遂行し、データ入力の一部外注化等、その効率化と迅速化にご尽力されました。

このようなご苦労と功績に対しまして感謝の意を表すため、東北地区大学図書館協議会表彰規定第2条1項に該当するものとして表彰していただきたく、推薦いたします。

#### ●略歴

昭和44年6月 東京大学教養学部教養学科図書室

昭和55年4月 岩手大学人文社会科学部研究協力係

平成元年10月 " 附属図書館運用係

平成4年5月 " 附属図書館学術情報係

平成8年4月 " 附属図書館学術情報係長

平成11年4月 " 附属図書館雑誌情報係長

平成14年4月 " 附属図書館図書情報係長

平成16年4月 " 情報メディアセンター図書情報係長

平成17年4月 " 研究交流部情報メディア課図書情報係長

平成17年7月 " 研究交流部情報メディア課図書館資料管理グループ主査

平成19年3月 定年退職

2. 氏名 吉川文子 氏

(昭和22年1月2日生)

元東北大学附属図書館医学分館運用係員

#### ●推薦理由

吉川文子氏は、昭和40年2月に東北大学附属図書館医

学分館に技能補佐員として採用されて以来、平成19年3月末に医学分館を定年で退職するまで、40年の永きにわたり、東北大学薬学部図書室、医学分館、医療技術短期大学部図書室、科学計測研究所図書室及び工学分館において図書業務に従事されました。

この間、図書及び雑誌の受入業務、目録業務、閲覧業務など様々な図書業務に従事し、その貢献は多大なものとなっています。特に薬学部、医療技術短期大学部、科学計測研究所の図書室においては、管理・運営及び図書業務全般をひとりで行い、教員や学生に対するサービスに誠心誠意当たらされました。

また、工学分館においては、主として図書及び雑誌の受入業務に従事し、予算の有効利用に尽力されました。平成18年4月からは、医学分館運用係において、文献複写業務に携わっており、利用者のサービスに尽力されました。

このようなご苦労と功績に対して感謝の意を表すため、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当する者として表彰していただきたく、推薦いたします。

#### ●略歴

昭和40年2月 東北大学附属図書館医学分館  
(技術補佐員)  
昭和48年5月 " 医療技術短期大学部  
(教務助手)  
昭和54年12月 " 薬学部図書室  
昭和60年4月 " 医学分館 整理掛  
平成元年5月 " 医療技術短期大学部  
平成10年4月 " 科学計測研究所図書室  
平成14年4月 " 工学分館 整理・運用掛  
平成18年4月 " 医学分館 運用係  
平成19年3月 定年退職

#### 【参考】

平成16年4月～平成18年3月 宮城工業高等専門学校庶務課図書係

### 3. 氏名及川恵美子氏

(昭和22年3月24日生)

元東北大学附属図書館工学分館整理・運用係長

#### ●推薦理由

及川恵美子氏は、昭和44年4月に東北大学附属図書館教養部分館に採用されて以来、平成19年3月末に工学分館を定年で退職するまで、38年の永きにわたり、東北大学附属図書館本館、医学分館、北青葉山分館、金属材料研究所、工学分館に勤務されました。

この間、受入業務、目録業務、閲覧業務など様々な図書館業務に従事し、その貢献は多大なものとなっています。特に参考調査業務においては、専門的知識と卓越した語学力を活かし、教員や学生に対するサービスに誠心誠意当たらされました。

平成8年4月、医学分館整理掛長に昇任され、医学分館における外国雑誌の高騰に対応して、購入雑誌の見直しを行い、予算の有効利用に尽力されました。平成11年4月からは本館情報管理課図書情報係長として、本学全体の目録作成及び遡及入力において指導的立場で活躍され、平成14年4月からは、金属材料研究所総務課図書掛長として、同研究所図書室の管理・運営に尽力されました。

平成17年4月からは、工学分館整理・運用係長として、それまでの図書館業務に関する豊富な経験と知識を活かし、後輩の指導と教員や学生に対する図書館サービスにおいて、その手腕を遺憾なく発揮されました。

このようなご苦労と功績に対して感謝の意を表すため、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当する者として表彰していただきたく、推薦いたします。

#### ●略歴

昭和44年4月 東北大学附属図書館教養部分館整理・運用掛  
昭和45年4月 " 整理課受入掛  
昭和45年6月 " 閲覧課運用掛  
昭和50年6月 " 総務課企画・涉外掛  
昭和53年8月 " 整理課洋書目録掛  
昭和59年5月 " 閲覧課参考調査掛  
平成3年5月 " 医学分館運用掛  
平成6年4月 " 北青葉山分館整理・運用掛  
平成8年4月 " 医学分館整理掛長  
平成11年4月 " 情報管理課図書情報掛長  
平成14年4月 " 金属材料研究所総務課図書掛長  
平成17年4月 " 工学分館整理・運用係長  
平成19年3月 定年退職

### 4. 氏名菅原育子氏

(昭和21年11月30日生)

元東北大学附属図書館工学分館整理・運用係員

#### ●推薦理由

菅原育子氏は、昭和41年4月に東北大学農学部図書掛に採用されて以来、平成19年3月末に工学分館を定年で退職するまで、41年の永きにわたり、東北大学農

学部、農学研究所、遺伝生態研究センター、生命科学研究科、附属図書館工学分館において図書館業務に従事されました。

この間、受入業務、目録業務、閲覧業務、文献複写業務の他、図書室の管理運営、各種調査など図書室全般の業務に従事し、その貢献は多大なものとなっています。特に、農学研究所から遺伝生態研究センターへ、同センターから生命科学研究科へと改組・再編されたことに伴い、2度の図書室再編・移転という困難な仕事をも拘わらず精励され、平成17年3月まで実務の中⼼者として、現在の生命科学研究科図書室の発展と向上に尽力されました。

さらに、附属図書館工学分館整理・運用係に配置換になってからは、主に文献複写業務を担当され、それまでの図書館業務に関する豊富な経験と知識を生かし、後輩の指導と教員や学生に対する図書館サービスに誠心誠意当たられ、研究・學習の支援に努められました。

このようなご苦労と功績に対しまして感謝の意を表すため、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当する者として表彰していただきたく、推薦いたします。

#### ●略歴

昭和41年4月 東北大学農学部図書掛  
昭和55年4月 " 農学研究所庶務掛(図書室)  
昭和63年4月 " 遺伝生態研究センター共同  
利用掛(図書室)  
平成13年4月 " 生命科学研究科図書室  
平成17年4月 " 附属図書館工学分館整理  
・運用係  
平成19年3月 定年退職

# 第62回東北地区大学図書館協議会総会議事要録

## 開会のあいさつ

岩手県立大学メディアセンター長

細江 達郎

ただいまご紹介いただきました、今回の第62回大会東北地区大学図書館協議会の当番館を仰せつかりました岩手県立大学のメディアセンター、私どものほうは図書館のことをメディアセンターと言っておりますが、そのセンター長をしております細江と申します。当番館長として開会のあいさつをさせていただきます。

この会の前に開かれた幹事会に参加させていただきました、今回の総会に出す資料等についてご説明いただきました。また、会誌などを見ますと何と62回を数える大会は、戦後昭和21年に開催された長い歴史を持つということを、私は強く感じたわけであります。私ども10年目の大学では、いざれたくさんのこと教えていただくものが多いものと思っております。

戦後の大学の変動の歴史の中で、図書館はさまざまな試練を経てきたと思っております。近年、情報化の中での大学図書館は、大学においては先導的役割を担っていかなければならない。そういう中で、また財政難という厳しい状態が大学図書館にも押し寄せているわけであります。

先ほど幹事会でも話題となっていましたが会員というか、関係者のスキルアップということもその中でやつていかなければならぬという大変重要な時期に来ているようあります。こうした中、東北地区的大学の図書館、それは設立の形態の違いがあるわけでありますが、同じ大学図書館にかかる専門の方々が集まって議論するということは大変意義あることと思っております。総会を初め各部会等の会議の議論が実りあるものになることを願っております。

本会の開催に当たりまして、常任幹事館の東北大学附属図書館の野家館長をはじめ関係の皆様、また国公私立の幹事館の皆様、何よりもご出席いただいた皆様に大変感謝をいたしております。また、岩手県内の大学の方々にはこの開催にいろいろご協力いただきましたことも改めて御礼を申し上げまして、私のあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。(拍手)

## 歓迎のことば

岩手県立大学 学長 谷 口 誠

皆様、こんにちは。きょうは遠く盛岡まで東北地区各

地の大学図書館関係者がお集まりくださいまして、光栄に思っております。実は、数日前までは県内は洪水で大変な被害を受けたわけですけれど、きょうは割合天気がよくて、何よりです。

盛岡市の北隣、滝沢村にあります県立大学のキャンパスは、私も今までいろいろな世界の大学等を訪問しましたが、キャンパスとしてはあれだけ自然に恵まれたすばらしい大学はそうないと思います。特に学長室から見る岩手山の景色は、あれはすばらしいもので、私は山だけ見ているわけではないですけれども、本当にそういう意味ではすばらしいキャンパスを、今日は実は見ていただきたかったわけです。しかし、交通の便等を考えまして、この盛岡駅西口のアイーナキャンパスの中でやらせていただきました。皆さんにも本当はぜひ滝沢村にお招きしたかったところです。

滝沢村は、全国でも有数の人口5万人の村で、その中に大学が3つあります。本当に村としてもすばらしいところです。本学図書館はまだ新しくて、まだ10年の歴史しかありません。来年10周年を迎えるところで我々準備しておりますけれども、私はやっぱり図書館は大学において重要です。本学では、メディアセンターと申しておりますけれども、まだ約31万部ぐらいの本しかありません。今まで、私はケンブリッヂ大学とか、アメリカのエール大学とか、そういうところでいろいろ勉強してきましたが、やはり大学の命は図書館にあると思います。本当にそういう意味で、きょうは皆様方からいろいろなノウハウをいただいて、県立大学の図書館もすばらしい図書館に発展するように心から願っております。

私も各大学の図書館を見てまいりましたが、やはり各大学ともみんなすばらしい文庫を持っております。例えば一橋大学でもメンガー文庫とか、エール大学などは本当にすばらしい建物でありますし、中にも本当にすばらしい文庫を持っています。各大学ともうだだと思います。皆さんの大学もおそらくそういうすばらしい文庫を持っておられると思います。

私はやはり、さっき申し上げたように大学にとって図書は命だという気はします。特に中国の北京大学も、私も客員教授で教えに行ったことがありますけれども、あのすばらしい建物の中に図書だけではなくて、いろんな中国のすばらしい文芸品も集めておりますし、それから学生が夜の8時から11時まで席取り合戦のように競って勉強しているのを見ると、いかに大学にとって図書館の存在は大きいかと思っております。

私も国連等々で、O E C D等で勤務した経験がありますけれども、本当にアーカイブという、文書が整理されていることがいかに研究に役立つてくるか、これは痛切に感じました。やはり図書が整理されない、アーカイブ、記録、歴史資料がきちんと整っていない国際機関では本当にいい仕事はできない。そのために専門家を雇い、大変な努力をしております。これから日本の大学図書館もインターネット等、電子媒体を使っていろいろ進化させていかないといけない。これからはソフトを使った分野で図書館がどのように近代化されていくか、これは大きな課題だと思います。

岩手県立大学の宣伝になりますけれども、まだ10年の若い大学ですが、ソフトウェア情報学部は全国の情報処理学会で数年間最優秀学生賞をとっておりますし、そういう分野では結構これから若い研究者も出てまいります。ソフトを中心に看護学部、それから社会福祉学部、総合政策学部が連携をとりながら地域の貢献に努めていきたいと思います。特に岩手県は高齢化、少子化、過疎、貧富の格差等々大きな問題を抱えておりますから、こういう分野で岩手県立大学が貢献していく。特に地域貢献のためには、やはり図書館が地域の人々に開放されているということが必要になってくると思います。そういうことで、今回はぜひ本学を見てほしかったわけですけれども、残念ながらその機会はなくて申しわけないと思っております。

私も本当にこれから岩手県立大学をさらに地域に貢献し、日本の中でも存在感のある大学していきたいと思います。特に岩手県は、やはりすばらしい教育立国を目指して岩手大学、それから本県立大学、盛岡大学、それから岩手医大、富士大学等々、お互いに競合しない形で分業体制をとって岩手県の教育のレベルアップを図っております。

そういう意味で、きょうも岩手大学の先生あるいは盛岡大学の先生、岩手医大の先生、富士大学の先生も来られておりますから、皆さんと十分意見を交換されて、岩手県のみならず東北地方、さらに日本のこれからの発展する原動力になってほしいと願っております。

そういうことで、きょうは皆さん本当にいろんな議論をされて、全体のレベルアップのために尽くしていただきたいと思います。

当岩手県立大学が総会の準備をしてまいりましたが、不十分な準備で皆さんにご迷惑かけることがあると思いますし、遠路はるばるお見えになったのに温かいもてなしもできないかもしれません、どうぞご容赦ください。どうもありがとうございました。(拍手)

## 挨 捷

東北大学附属図書館 館長 野 家 啓 一

ただいまご紹介いただきました常任幹事館、東北大学附属図書館長の野家でございます。一言ごあいさつ申し上げます。

本日は、お忙しい中、東北地区大学図書館協議会にお集まりいただき、ありがとうございました。また、当番校をお引き受けいただき、すばらしい会場を提供していただきました岩手県立大学の谷口学長並びにメディアセンター長の細江先生に厚く御礼申し上げます。

先ほど谷口学長からお話をありがとうございましたが、大学において図書館というのは教育・研究の生命線、ライフラインであると思います。ただ、残念ながら俗に言う人、物、金のいずれの面においても大学図書館は厳しい状況に置かれておりまして、現在は一つの転換期にあるのではないかと思っております。もちろん「人」のほうは人員削減が続いておりまして、図書館において専門職のスタッフをきちんと確保していくことが非常に現在難しくなっています。

それから「物」のほうでは、これまでのように冊子体の紙媒体の図書だけではなく、電子媒体のジャーナル等も図書館が扱わなければならぬ状況になっています。最近では「ハイブリッド図書館」と言われておりますが、そちらの方向へ向かって現在転換しつつある中で、大学図書館の役割もいろんな意味で変化してきていると思います。理系の先生の中には電子ジャーナルさえあれば図書館なんか要らないという極論をはく先生もいらっしゃるほどですので、これから図書館の将来像は十分にいろんな面から検討すべき余地があろうかと思います。

それから、3番目の「金」のほうは、これはどこも年々図書館の予算は減っていくばかりで、特に国立大学は運営費交付金が削られて行く状況の中で、どうやって今までの品質とサービスを維持するかということが課題として課せられております。人、物、金、いずれの面においても厳しい状況にはありますが、むしろこれを一つの好機ととらえて、新たな大学図書館像を我々として形づくっていくいい機会にしたいと考えております。

実は、先週国立の7大学の図書館長会議が九州大学でございました。そのときに、館長会議の話題になったのは、大学図書館に学生をどうやってあふれさせるか、九州大学の有川館長の言葉を使うと「行列のできる図書館」をつくるにはどうしたらいいか、ということでした。ともかく大学図書館の役割は、もちろん研究支援、学習支援、社会貢献を含めていろんな機能があるわけですから、第一は学生にとってよき学習環境を提供すること

であろうと思います。先ほど谷口学長から、北京大学では席取り合戦があるというお話しでしたが、韓国のソウル大学では整理券を発行しているほどで、順番待ちが続いているそうです。ご承知のように、アメリカの大学では学生寮がキャンパス内にあることもありますが、夜中まで大学図書館は学生であふれています。

ところが、日本の大学図書館は残念ながらそういう状況はないということで、どのようにして学生に魅力のあるスペースを大学図書館が提供できるか、ということがこの前の館長会議の話題でした。現在は、昔のように図書館はただ静粛にして勉強する場所というだけでなく、図書館の中でグループ・ディスカッションができるような、ラーニング・コモンズと最近は言っているようですが、そういうスペースを確保するとか、あるいは図書館に隣接してカフェがあるとか、そういうアメニティ空間と言いますが、学生に快適な居場所を提供するということが図書館の非常に重要な機能になっています。そういう方向を目指すためにも、今回のこの東北地区の大学図書館協議会は国立、公立、私立が一堂に会して情報を交換し合い、議論を闘わせるというまことに得がたい機会であると思います。普通は国公私立の各大学図書館が一堂に会するという機会はなかなかありませんが、1年に1度ですけれども、こういう機会を設けてあるということは、お互いにこれからの大図書館のあり方を模索し、さらに飛躍、発展させるための極めて貴重な機会であろうと思いますので、これからは何時間か真剣なご議論をいただきて、さらにそれを各大学へ持ち帰っていただき、新たな大学図書館づくりの基盤にしていただければありがたいと思っております。

この盛岡の地は、最近は朝の連続テレビドラマ「どんと晴れ」で有名になりましたけれども、東北地区的大学図書館協議会も最後は「どんと晴れ」になるように祈りまして、簡単ですが、ごあいさつに代えさせていただきます。ありがとうございました。

## 議長団選出

議長団の選出については、慣例によりまして、総会当番地区より選出することになっており、今回は岩手地区が当番となっておりますので、国立大学は、岩手大学情報メディアセンター図書館の斎藤館長、私立大学は岩手医科大学附属図書館米満館長、公立大学は岩手県立大学メディアセンターの細江センター長をそれぞれ選出。

議長団を代表して、細江岩手県立大学メディアセンター長からあいさつがあり、議事に入った。

## 総 会

### 1 報告事項

#### ① 平成18年度学術奨励賞について

(仙台大学 阿部館長)

論文審査主査館仙台大学阿部館長から、総会資料1頁に基づき受賞理由及び審査結果について詳細な説明があった後、議長から山形大学紅花プロジェクト実施ワーキンググループに平成18年度学術奨励賞を授与することについて、確認したい旨発言があった。

その結果、満場一致で、授与することを確認した。

#### ○論文タイトル名

ウェブサイト「紅花の歴史文化館」及び論文「山形大学附属図書館の紅花プロジェクト」

その後、常任幹事館野家館長から、山形大学紅花プロジェクト実施ワーキンググループの代表に賞状と、記念品が贈呈された。

次いで、山形大学紅花プロジェクト実施ワーキンググループを代表して鬼島情報サービスユニット長から、受賞についてお礼のあいさつがあった。

なお、今回の審査は、主査館 仙台大学 審査館 東北大学、宮城教育大学、青森公立大学、青森県立保健大学、郡山女子大学の6館で行ったものである。

#### ② 平成18年度会務報告について

(東北大学 加藤総務課長)

総会資料の2頁～3頁に基づき昨年9月宮城大学を当番館として開催された第61回総会以降の会務について報告がなされた。

- 1) 平成18年度末の加盟館数は、聖和学園短期大学が新たに加盟したことにより、国立15館、公立12館、私立34館の計61館である。
- 2) 平成18年度の合同研修は、平成19年7月26日に会津大学で、開催された。

基調講演「大学図書館における今後の設計：いくつかの調査に基づいて」及び2件の事例発表があった。

- 参加者は、国公私大学25館から合わせて33名であった。
- 3) 会誌の発行は、第58号を平成19年6月に450部印刷し、加盟館及び関連機関等に既に送付している。
  - 4) 幹事会は、1回目は昨年の平成18年12月26日に東北大学において開催し、学術奨励賞規程、その他の規程改正について協議した。

2回目は、平成19年8月2日に東北大学において開催し、本総会及び部会の議題について協議した。

3回目は、本日の総会直前当アイーナで開催し、

総会及び部会の運営について協議した。

- 5) 永年勤続表彰については、平成18年度4名を表彰し、所属の館長から、退職時に表彰状及び記念品の贈呈を行った。
- 6) 学術奨励賞については、先ほどの表彰のとおり、山形大学紅花プロジェクト実施ワーキンググループに学術奨励賞を授与した。
- 7) 記念事業基金の造成については、平成18年度通常会計から記念事業基金として91,500円を繰り入れた。
- 8) 平成18年度の会計監査については、平成19年9月12日に東北大学において会計監査館、岩手県立大学及び東北福祉大学図書館による会計監査を受けた。

**③ 平成18年度一般報告及び各部会報告について**  
議長から、平成18年度一般報告に関しては、事前に加盟館に総会前に電子メール等で送付しているので、総会資料4~6頁を参照することで報告は省略された。

**[部会報告]**

**◆国立部会報告**

国立部会に関しては、総会資料7~9頁を参照することで報告は省略された。

**◆公立部会報告**

公立部会に関しては、総会資料10~12頁を参照することで報告は省略された。

**◆私立部会報告**

私立部会に関しては、総会資料13~14頁を参照することで報告は省略された。

**④ ウェブサイト開設WGからの報告について**

(東北大学 高橋総務課課長補佐)

総会資料15頁「東北地区大学図書館協議会ウェブサイト開設WGについて」に基づき第61回総会以降の活動状況について報告がなされた。

**⑤ 平成18年度決算報告**

(東北大学 高橋総務課課長補佐)

総会資料16頁「平成18年度決算書」に基づき収入及び支出の報告がなされた。

**⑥ 平成18年度記念事業基金積立決算報告**

(東北大学 高橋総務課課長補佐)

総会資料17頁「平成18年度記念事業基金決算書」に基づき報告がなされた。

**⑦ 平成18年度会計監査報告**

(東北福祉大学 石田課長)

平成19年9月12日に東北大学附属図書館において、

岩手県立大学と本学で平成18年度決算書及び平成18年度記念事業基金決算書について監査した。その結果、関係帳簿、証拠書類等も整理されており、相違ないことを確認した旨の報告がなされた。

以上、決算報告及び会計監査報告は、満場一致で承認された。

**⑧ その他**

**メールによる文献複写物の送付について**

(東北大学 加藤総務課長)

平成17年7月に、国公私立大学図書館協力委員会で大学図書館協力による資料複製に関するガイドラインが作成され、それに基づき大学図書館は文献複写業務をしているが、ガイドラインを運用するに当たり、運用指針が決まっていなかったが、国立大学関係者で検討を重ねた結果、ホームページで運用指針及び許諾の調査ツールを公開できることとなったことの報告がなされた。

**2 協議事項**

**① 東北地区大学図書館協議会学術奨励賞規程の改正について**

**② 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項の改正について**

**③ 東北地区大学図書館協議会表彰規程の改正について**

(東北大学 高橋総務課課長補佐)

次のとおり、3件の規程改正について提案理由等の説明があり、各部会で協議した後、全体会議に報告願うこととした。

61回総会からの継続審議ということで、総会資料の19頁「東北地区大学図書館協議会学術奨励賞規程の改正について」、20頁「学術奨励賞候補論文等審査取扱要項の改正について」、21頁「東北地区大学図書館協議会表彰規程の改正について」にそれぞれ改正の提案理由が記載されている。具体的に申しますと学術奨励規程の改正については、もっととりやすくするために規程を改正しようということである。

また、次の論文等審査取扱要項については、この学術奨励規程、いわゆる親規程が改正されることに伴い改正されることになるものである。

東北地区大学図書館協議会表彰規定の改正については、資料にもあるとおり、永年加盟館に勤めただけで表彰ということではなく、東北地区大学図書館協議会に貢献した者または、協議会の発展・運営に協力した者を表彰対象にすることを前提にして規程改正を行いたい旨報告がなされた。

協議事項資料集の4頁、5頁、6頁にそれぞれ改正案を提示したのでこれについて検討願いたい。

#### ④ 東北地区大学図書館協議会の研修について

(東北大 学 加藤総務課課長)

総会資料22頁「東北地区大学図書館協議会の研修について」に基づき提案理由説明があり、各部会で協議した後、全体会議で報告願うこととした。

東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）では各種の図書館職員向け研修を実施してきたが、図書館を取り巻く社会状況等を勘案すると、さらに効果的な研修を行い、持続的に職員のスキルの向上を図る必要がある。

そのため協議会内に研修検討組織を常置し、研修体系及び内容の再構築を行い、協議会加盟館員の人材育成と交流の機会を設けたい。

現在、各県持ち回りで行っている東北地区大学図書館協議会合同研修会の在り方も含め検討を行いたい。

協議事項資料集の15頁にWG設置案を提示したので、これについて検討願いたい。

#### ⑤ 平成19年度事業計画（案）について

(東北大 学 加藤総務課課長)

総会資料23頁「平成19年度事業計画（案）」に基づき以下6項目について提案説明がなされた。

##### 1) 62回総会の開催

会計年度に沿って本日開催のため事後承認となること。

##### 2) 職員の表彰

##### 3) 学術奨励賞の表彰

この2件については、各部会で審議の後、総会で承認されれば新たな規程に基づき、実施するということになること。

##### 4) 研修会の開催（国・公・私立大学合同）

今年度は宮城地区を当番館として開催予定

##### 5) 会誌の発行

会誌第59号を20年5月頃発行予定

なお、協議会誌第60号については、これまでの協議会の歩みのようなものという掲載してはどうかという提案を私立部会のから承っているので、時期が来れば協議願いたい旨補足説明がなされた。

##### 6) 記念事業基金の造成

19年度の通常会計から、記念事業基金として(91,500円)を繰り入れ予定。

以上、6項目については、満場一致で承認された。

#### ⑥ 平成19年度予算（案）について

#### ⑦ 平成19年度記念事業基金積立予算（案）について

(東北大 学 高橋総務課課長補佐)

総会資料24頁「平成19年度予算案」及び「平成19年度記念事業基金予算案」に基づき、昨年度との相違点について詳細な説明がなされた後、原案どおり満場一致で承認された。

#### ⑧ 第63回総会の当番地区（館）について

(東北大 学 高橋総務課課長補佐)

総会資料の25頁「第63回総会の当番地区（館）について」に基づき第63回総会の当番地区は福島地区になっていること。

福島地区で検討した結果、いわき明星大学で開催することになったので、承認願いたい旨発言があり、協議の結果、満場一致で承認された。

また、64回の当番地区は宮城地区となっているので、宮城地区の加盟館で検討し、来年の第63回総会までに当番館を報告願いたいとの依頼があった。

#### ⑨ 平成19年度合同研修会について

(東北大 学 高橋総務課課長補佐)

総会資料26頁「平成19年度の合同研修会について」に基づき平成19年度の開催地区当番は宮城地区となっていることを確認した。

当番大学については、宮城地区の加盟館で協議し、決定後速やかに加盟館に通知することとした。

#### ⑩ 役員館の改選について

(東北大 学 高橋総務課課長補佐)

総会資料27頁「役員館の改選について」に基づき、常任幹事館、幹事館、会計監査館、論文審査館の任期が満了となるので、協議会会則等に基づいて役員館の改選をお願いしたい旨提案があった。なお常任幹事館については、この席で決定願いたい旨発言があり、満場一致で東北大を選出した。

その他の役員館については、各部会で選出することとした。

また、今回の総会で学術奨励規程等が改正された場合、各幹事館が論文審査館を兼ねることとなる旨補足説明がなされた。

### 3 その他

#### 5. 平成18年度の永年勤続表彰について

総会資料28頁「平成18年度の永年勤続表彰」記載してある4名の永年勤続表彰者については、それぞれの所属館長から表彰の伝達が行われており、表彰者の略歴等については35頁～39頁に掲載してある旨報告があつた。

## 各部会報告

### ◆国立部会

(青木 宮城教育大学附属図書館長)

- 1) 東北地区大学図書館協議会学術奨励賞規程の改正について
- 2) 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項の改正について
- 3) 東北地区大学図書館協議会表彰規程の改正について
  - ① 改正については、基本的に了承する。
  - ② 第3条の見出し「被表彰者の応募の方法」を「応募の方法」に修正する。
  - ③ 第5条 審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定するとなっているが、最初に「幹事会は」という文言を入れて 第5条 幹事会は、審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定するとする。
- 4) 東北地区大学図書館協議会の研修について  
東北地区大学図書館協議会研修検討WG設置要項(案)について字句の修正等を行うことで、設置することを了承した。
- 5) 役員館の改選について  
国立部会から秋田大学を幹事館として選出することとした。

### ◆公立部会

(久恒 宮城大学情報センター長)

- 1) 東北地区大学図書館協議会学術奨励賞規程の改正について
- 2) 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項の改正について
- 3) 東北地区大学図書館協議会表彰規程の改正について
  - ① 第3条の見出し「被表彰者の応募の方法」を「応募の方法」に修正する。同じく第3条 館長が推薦するとなっているが自薦、他薦もあるのかどうか、文言を整理する。
  - ② 第5条 審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定するとなっているが、最初に「幹事会は」という文言を入れて 第5条 幹事会は、審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定するとする。
  - ③ ②の修正に基づき、要項11も文言を整理する。
- 4) 東北地区大学図書館協議会の研修について  
東北地区大学図書館協議会研修検討WG設置要項(案)について設置することを了承した。  
なお、長期的な研修と年度毎の研修を整理していくだきたい。
- 5) 役員館の改選について  
公立部会から岩手県立を幹事館として選出することとした。  
なお、会計監査館については、青森県の大学にお願

いすることとしたが、具体的にどこの大学かは結論が出なかった。

決定次第、常任幹事館に連絡することとした。

### ◆私立部会

(須田 東北学院大学附属図書館職員)

- 1) 東北地区大学図書館協議会学術奨励賞規程の改正について
  - 2) 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項の改正について
  - 3) 東北地区大学図書館協議会表彰規程の改正について
    - ① 第3条の見出し「被表彰者の応募の方法」を「応募の方法」に修正する。
    - ② 第5条は、このとおりでよい。
    - ③ 要項9の審査委員館は、「当分の間」と規定しているが、この「当分の間」というのはどの程度かよくわからない。幹事館が、審査委員館になるのであれば「当分の間」という文言は不用である。
    - ④ 取扱い要項10「管理職にある者については規程第2条第1項規定は適用しない」となっているが、管理職の定義は、各館で異なると思われる所以、第10項を削除する。
  - 4) 東北地区大学図書館協議会の研修について  
東北地区大学図書館協議会研修検討WG設置要項(案)について設置することを了承した。
  - 5) 役員館の改選について  
私立部会から東北福祉大学及び郡山女子大学を幹事館として、また東北学院大学を会計監査館として選出することとした。
  - 6) その他
    - ① 洋雑誌の高騰について  
各大学で問題となっている洋雑誌の高騰についての対策として、今後連携又は協力体制が必要ではないかとの問題提起があった。
    - ② 協議会の在り方について  
総会の日程を少し変更して、研修と総会を同一日に行った方が効果的ではないかとの意見があつた。
- 協議題に関する質疑応答
- 事務局から、各部会からの報告（修正意見）を受け、総会終了後、修正案を各加盟館に通知し、意見収集を行ないので、下記3件の規程改正を平成19年9月20日付けで承認願いたい旨発言の後、議長から諮りこれを承認した。
- 1) 東北地区大学図書館協議会学術奨励賞規程の改正について
  - 2) 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項の改正について

- 3) 東北地区大学図書館協議会表彰規程の改正について
- 学術奨励賞という名称について  
規程改正に伴い、学術奨励賞という名称が消えることについて意見交換を行った。
  - 東北地区大学図書館協議会研修検討WGの設置について  
事務局から、私立部会から提案のあった研修と総会を同一日に行うこと等について、今後このWGに検討を付託することとした。  
次に、事務局から、研修検討WGの活動費について19年度予算に項目に計上していなかったので、予備費から支出したい旨発言があり、議長から諮り、これを承認した。
  - 洋雑誌の高騰について  
洋雑誌の高騰対策について意見交換を行った。
  - 論文審査館について  
事務局から、規程改正に伴い、今回選出された幹事館が論文審査館を兼ねることになった旨報告があった。

### 次期当番館あいさつ

いわき明星大学学術情報支援室長 佐々木 克彦

皆さまお疲れ様でございます。

次期当番館のいわき明星大学事務局長の佐々木と申します。私は学術情報支援室長も兼務しております、本日はその役職で参加しております。

本学は今年で、創立20周年を迎える大学です。開学時より、人文学部、科学技術学部の二学部で構成されておりましたが、本年創立20周年記念事業として薬学部を新たに開設し三学部体制となりました。

20周年を迎えて、図書館を拡張する形でほぼ同規模の学習センターを新築しました。それに伴い、組織も情報センターと図書館を統合して学術情報支援室に変えました。さらには図書館の専任職員数も減らし、その経費によって業務委託を行い、夜間開館も実現しました。これは、図書館の専任職員数を縮小するかわりに利用者サービスを増やし、残った専任職員一人ひとりの専門性をより強化していくこうという考え方によるものです。来年皆様が本学に来られ、これら私どもの取り組みの一端を、休憩の合間にでも是非見ていただいて、感想なりサジェスチョンなりをいただけたらば大変ありがたい、と考えている次第です。

そのため、本学はいわき駅から少々離れたところにあります、あえて大学を会場にさせていただくことにしました。今申し上げたとおり、当学術情報支援室は非常

に少ないスタッフで構成されておりますので、事務局全体で総会のお手伝いさせていただきます。皆様のご来訪を心よりお待ちしております。

### 閉会のあいさつ

岩手県立大学メディアセンター長 細江 達郎

只今まで、皆様数多くのことをご議論いただきありがとうございました。東北大学及び各幹事大学にまずお礼を申し上げたいと思います。ご出席の皆さんも大変ありがとうございました。

この大学の激動の時期に大学の発展にこそ、図書館が必要であるということを主張しても、必ずしもそれが理解されないようあります。いわき明星大学の新しい取り組みなど、今日、私はたくさんのこと勉強させていただきました。

図書館が重要であるということを、我々自身改めて認識するとともに、図書館も時代の変化に対応して変えていかねばならない。そしてそのことを図書館自体が学内や地域の人達に広報して、理解し分かっていただく努力が必要であることを痛感いたしました。

今回の協議会が、野家先生のお話のように「目出度し目出度しどんと晴れ」とならなかつたのではないかと、課題がいっぱい残ったままの会ではなかたかと思っております。

来年に向けてこの会が一層発展していくことと、皆様方各図書館が本当の意味で発展していくことを願って閉会のあいさつとさせていただきます。

どうも本当にありがとうございました。

## 第62回東北地区大学図書館協議会総会出席者名簿

(国 立)

No.	大 学 図 書 館 名	職 名	氏 名
1	弘 前 大 学 附 属 図 書 館	館 長	正 村 和 彦
2	弘 前 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 部 長	諏 訪 田 義 美
3	弘 前 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 課 長	五十嵐 輝 雄
4	岩 手 大 学 情 報 メ デ ィ ア セン ター 図 書 館	館 長	齋 藤 徳 美
5	岩 手 大 学 情 報 メ デ ィ ア セン ター 図 書 館	副 館 長	井 上 祥 史
6	岩 手 大 学 情 報 メ デ ィ ア セン ター 図 書 館	情 報 メ デ ィ ア 課 長	村 田 藤 雄
7	岩 手 大 学 情 報 メ デ ィ ア セン ター 図 書 館	図 書 館 利 用 サ ー ビ ス グ ル ー プ 主 壇	田 畑 由 美 子
8	東 北 大 学 附 属 図 書 館	館 長	野 家 啓 一
9	東 北 大 学 附 属 図 書 館	事 務 部 長	北 村 明 久
10	東 北 大 学 附 属 図 書 館	総 務 課 長	加 藤 信 哉
11	東 北 大 学 附 属 図 書 館	総 務 課 課 長 補 佐	高 橋 信 野
12	東 北 大 学 附 属 図 書 館	医 学 分 館 事 務 長	山 越 隆 男
13	宮 城 教 育 大 学 附 属 図 書 館	館 長	青 木 守 弘
14	宮 城 教 育 大 学 附 属 図 書 館	図 書 館 主 幹	齋 藤 茂
15	秋 田 大 学 附 属 図 書 館	館 長	渡 会 二 郎
16	秋 田 大 学 附 属 図 書 館	事 務 長	伊 藤 重 範
17	山 形 大 学 附 属 図 書 館	館 長	原 慶 明
18	山 形 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 部 長	友 光 健 二
19	山 形 大 学 附 属 図 書 館	情 報 サ ー ビ ス ユ ニ ッ ト 長	鬼 島 百 合 子
20	福 島 大 学 附 属 図 書 館	館 長	小 沢 喜 仁
21	福 島 大 学 附 属 図 書 館	グ ル ー プ リ ー ダ ー	鈴 木 三 男

(公 立)

No.	大学図書館等名	職 名	氏 名
1	青森県立保健大学附属図書館	主 事	山田 奈々
2	岩手県立大学メディアセンター	センタ－長	細江 達郎
3	岩手県立大学メディアセンター	教育・学生支援本部長補佐 (メディア担当)	板垣 完一
4	岩手県立大学メディアセンター	教育・学生支援室長	小原 一信
5	岩手県立大学メディアセンター	主 査	福田 隆
6	岩手県立大学メディアセンター	図書専門員	岩倉 琴重
7	岩手県立大学メディアセンター	図書専門員	林野 志麻
8	岩手県立大学メディアセンター	図書専門員	佐藤 あい
9	岩手県立大学メディアセンター	図書専門員	高橋 由美
10	岩手県立大学メディアセンター	図書専門員	遠藤 夏奈子
11	岩手県立大学メディアセンター	図書専門員	遠藤 祐子
12	宮城大学総合情報センター	センタ－長	久恒 啓一
13	宮城大学総合情報センター	企画情報班長	安部 正則
14	秋田県立大学図書・情報センター	図書・情報委員	阿部 達也
15	秋田公立美術工芸短期大学附属図書館	館 長	松本 研一
16	山形県立保健医療大学附属図書館	図書館管理専門員	奈良崎 健雄
17	会津大学情報センター附属図書館	副主任司書	佐々木 倫子
18	会津大学短期大学部附属図書館	館 長	安江 俊二
19	公立大学法人福島県立医科大学附属学術情報センター	主任 主査	安田 行雄
20	公立大学法人福島県立医科大学附属学術情報センター	副主任司書	西戸 雅博

(私 立)

No.	大 学 図 書 館 名	職 名	氏 名
1	八戸大学・八戸短期大学図書館	事務室長(司書)	小松 良重
2	八戸工業大学図書館	事務職員	馬場 誠
3	八戸工業大学図書館	事務職員	藤巻利男
4	岩手医科大学附属図書館	館長	米満正美
5	岩手医科大学附属図書館	分館長	上原至雅
6	岩手医科大学附属図書館	事務室長	藤原伸一
7	岩手医科大学附属図書館	矢巾キャンパス事務室係長	芳賀真理子
8	富士大学図書館	課長	井手俊一
9	盛岡大学図書館	館長	高橋俊和
10	盛岡大学図書館	事務室長	八木融子
11	修紅短期大学図書館	司書	小林晶絵
12	岩手看護短期大学図書館	司書	三田弥生
13	仙台大学附属図書館	館長	阿部武彦
14	仙台白百合女子大学図書館	館長	大本泉
15	仙台白百合女子大学図書館	事務長	生出登
16	石巻専修大学図書館	館長	高木富士夫
17	石巻専修大学図書館	主任	相澤浩美
18	東北学院大学中央図書館	館長	佐藤司郎
19	東北学院大学中央図書館	図書情報課長	三浦陸
20	東北学院大学中央図書館	図書館職員	須田充彦
21	東北工業大学附属図書館	事務長	早坂のり子
22	東北福祉大学図書館	館長	高橋美由紀
23	東北福祉大学図書館	課長	石田信孝
24	東北文化学園大学総合情報センター図書館	学長補佐(図書情報管理担当)	江村超
25	東北薬科大学附属図書館	事務部長	高橋誠一
26	宮城学院女子大学図書館	館長	犬飼公之
27	宮城学院女子大学図書館	事務部長補佐	大坂田茂子
28	羽陽学園短期大学附属図書館	館長	田中ふみ子
29	いわき明星大学図書館	学術情報支援室長	佐々木克彦
30	いわき明星大学図書館	グループ長	片見智子
31	いわき明星大学図書館	図書館職員	石井美樹
32	奥羽大学図書館	課長	伊藤喜章
33	郡山女子大学図書館	司書係長	和知剛
34	日本大学工学部図書館	課長	今津正人

# 図書館統計年報

## (1) 建物・職員数・蔵書状況及び図書費

(平成 19 年 3 月 31 日現在)

図書館名	建物 延面積	職員数		蔵書冊数					平成 18 年度増加冊数			平成 18 年度 図書 購入費
		図書館職員	内臨時職員	和書	洋書	計	内開架図書	内指定図書	和書	洋書	計	
弘前大学	6,102	21	11	480,137	156,138	636,275	92,370	—	8,769	1,164	9,933	23,993
(〃医学部分館)	1,364	7	2	64,558	71,668	136,226	29,005	—	1,214	1,595	2,809	3,466
(〃医学部分室)	317	3	2	39,550	4,958	44,508	36,789	—	491	64	555	1,815
岩手大学	9,089	23	9	648,912	191,778	840,690	190,809	13,155	8,373	1,451	9,824	28,141
東北大学	18,215	49	24	1,378,397	1,107,575	2,485,972	175,279	—	25,599	11,083	36,682	182,014
〃医学分館	4,476	19	11	162,494	258,398	420,892	420,892	—	2,185	2,902	5,087	8,038
〃北青葉山分館	3,356	10	6	73,970	290,295	364,265	326,698	—	1,113	3,404	4,517	11,897
〃工学分館	5,355	18	8	152,485	171,698	324,183	324,183	—	3,610	3,136	6,746	25,833
〃農学分館	1,279	6	2	71,696	59,720	131,416	86,276	—	1,048	732	1,780	4,617
宮城教育大学	2,934	10	3	280,876	47,420	328,296	183,924	—	6,952	145	7,097	18,934
秋田大学	4,493	28	16	286,575	109,596	396,171	81,128	—	3,263	1,149	4,412	17,135
〃医学部分館	1,648	8	5	43,781	56,836	100,617	—	—	1,295	1,123	2,418	6,584
山形大学	7,626	19	7	509,029	178,894	687,923	146,213	—	7,416	1,744	9,160	38,928
〃医学部分館	1,195	5	2	35,443	68,141	103,584	103,584	—	736	127	863	5,843
〃工学部分館	3,290	6	3	113,510	54,767	168,277	65,474	—	1,995	257	2,252	15,288
〃農学部分館	969	3	1	72,922	17,071	89,993	10,655	—	923	68	991	4,668
福島大学	7,218	13	0	593,402	221,686	815,088	112,709	—	11,515	1,953	13,468	75,337
青森公立大学	3,337	4	2	102,882	41,949	1	—	—	5,127	615	5,742	22,340
青森県保健大	1,850	5	3	64,018	22,593	86,611	86,611	—	4,392	227	4,619	16,809
岩手県立大学	6,425	7	0	165,359	46,170	211,529	—	—	4,532	321	4,853	37,684
宮城大学和	2,912	6	4	59,197	13,591	72,788	57,571	301	3,328	108	3,436	9,102
キヤンパス	943	5	3	40,111	5,994	46,105	33,365	171	9,139	1,658	10,797	58,165
〃太白キヤンパス	5,301	9	7	139,459	28,040	167,499	129,308	20	10,369	1,654	12,023	21,884
秋田県立大学	1,194	11	0	26,581	6,746	33,327	26,662	—	1,826	170	1,996	5,988
秋田公美工短	1,973	5	3	13,082	38,614	51,696	—	—	2,630	-218	2,412	16,498
国際教養大学	890	4	3	45,304	6,295	51,599	—	—	2,347	94	2,441	5,536
山形保健医大	1,144	5	2	90,769	6,202	96,971	96,971	—	1,539	64	1,603	2,978
米沢女子短大	2,446	8	2	54,791	70,235	125,026	70,522	—	624	528	1,152	3,267
会津大学短大	443	2	0	62,406	7,144	69,550	—	—	-82	-217	-299	1,246
会津大学短大	443	2	0	126,087	21,292	147,379	—	—	3,983	990	4,973	74,728
福島県立医大	3,400	14	4	112,994	89,733	202,727	188,962	—	1,655	192	1,847	5,308
青森大学	2,150	4	0	30,753	4,264	35,017	35,017	—	361	27	388	1,541
東北女子大学	247	2	0	132,666	13,207	145,873	69,600	1,004	3,846	18	3,864	7,000
八戸大学	1,636	4	0	97,597	25,246	122,843	28,891	—	1,583	20	1,603	6,961
八戸工業大学	2,432	8	0	76,658	18,344	95,002	95,002	—	1,542	87	1,629	4,428
弘前学院大学	1,280	3	0	130,815	131,397	262,212	—	—	3,127	2,334	5,461	4,609
岩手医科大学	4,342	14	6	134,030	28,606	162,636	43,900	204	5,183	567	5,750	15,945
富士大学	1,255	5	1	213,029	21,399	154,428	65,190	—	2,787	384	3,171	8,882
盛岡大学	2,081	7	2	22,770	424	23,194	23,194	—	206	0	206	573
修紅短期大学	183	1	2	17,855	2,400	20,255	15,674	—	526	10	536	820
岩手看護短大	1,120	2	0	78,281	14,954	93,235	—	—	4,087	820	4,907	6,828
仙台大学	1,442	7	2	66,180	9,330	75,510	75,510	239	2,496	147	2,643	13,758
白百合女子大	3,495	6	0	92,860	55,198	148,058	—	—	1,958	1,107	3,065	9,439
石巻専修大学	7,602	35	21	406,449	279,698	686,147	25,518	—	10,388	5,989	16,377	160,142
東北学院大学中央	2,776	7	3	92,723	56,170	148,893	148,893	—	1,943	718	2,661	15,116
東北学院大学多賀城	6,100	13	7	179,790	90,302	270,092	179,790	—	5,542	1,916	7,458	52,383
東北工芸大学	3,413	7	1	155,238	49,542	204,780	41,701	—	4,281	319	4,600	13,668
東北福祉大学	4,058	15	3	240,684	62,667	303,351	120,929	—	8,095	1,873	9,968	59,399
東北文化学園	1,982	4	0	73,916	14,320	88,236	58,172	30,064	8,121	744	8,865	6,899
東北薬科大学	1,392	6	3	56,909	39,711	96,620	14,470	—	1,146	916	2,062	7,397
宮城学院女大	3,215	11	5	273,092	99,622	372,714	41,097	674	8,348	1,323	9,671	39,389
尚絅学院大学	807	5	3	94,506	20,022	114,528	—	283	3,575	92	3,667	17,146
聖和学園短大	428	2	1	50,027	1,279	51,306	31,106	—	1,007	0	1,007	2,066
ノースアジア大学	1,689	6	1	142,068	28,247	170,315	85,300	—	2,757	24	2,781	10,268
東北芸工大学	2,155	3	0	93,839	12,789	106,628	—	—	4,990	580	5,570	19,181
羽陽学園短大	70,534	2	0	49,757	2,390	52,147	52,147	102	1,512	13	1,525	3,700
山形短期大学	1,533	5	1	97,018	8,119	105,137	65,999	476	2,239	23	2,262	6,444
いわき明星大	3,453	3	8	156,984	51,357	208,341	41,153	—	8,300	1,112	9,412	38,996
奥羽大学	2,635	7	0	138,535	89,244	227,779	227,779	—	2,199	1,082	3,281	10,356
郡山女子大学	1,734	4	0	89,978	14,085	104,063	95,000	—	1,692	11	1,703	3,925
東日本国際大	1,221	4	0	62,728	10,031	72,759	72,759	—	1,616	52	1,668	4,499
日本大工学部	5,006	14	9	215,050	120,334	335,384	335,384	—	3,133	1,485	4,618	19,071
桜の聖母短大	642	2	1	42,651	8,563	51,214	51,214	—	1,219	136	1,355	3,125
福島学院大学	2,254	6	4	73,603	5,664	79,267	79,267	—	1,906	264	2,170	2,428

## (2) 利用状況及び文献複写件数

(平成 18 年度分)

図書館名	図書館利用状況										文献複写						
	対象学生数	学生				対象職員数	教職員				学内分	学外分	計				
		館内閲覧		館外貸出			館内閲覧		館外貸出								
		人員	冊数	人員	冊数		人員	冊数	人員	冊数							
弘前大学	人 6,738	人 —	冊 —	人 24,112	冊 37,590	人 2,258	人 —	冊 —	人 1,112	冊 2,474	件 547	件 3,589	件 4,136				
(〃医学部分館)	—	—	—	6,999	11,632	—	—	—	1,116	2,221	323	5,301	5,624				
(〃医学部分室)	—	—	—	7,206	10,980	—	—	—	450	939	—	—	—				
岩手大学	人 6,323	—	—	—	40,097	人 1,271	—	—	—	2,822	4,725	4,118	8,843				
東北大学	人 18,441	1,303	2,121	57,076	131,201	人 7,992	49	278	4,623	13,421	3,560	5,664	9,224				
〃医学分館	2,428	—	—	4,032	5,102	人 3,136	—	—	697	3,268	959	37,064	38,023				
〃北青葉山分館	3,008	—	—	6,584	11,134	人 833	—	—	484	985	660	4,617	5,277				
〃工学分館	6,225	—	—	18,070	33,706	人 727	—	—	1,087	2,126	17,256	3,650	20,906				
〃農学分館	1,017	—	—	2,453	4,279	人 171	—	—	269	435	2,681	2,407	5,088				
宮城教育大学	人 1,621	128,747	—	12,403	22,797	人 485	—	—	846	1,847	35	580	615				
秋田大学	人 5,123	—	—	14,167	28,153	人 2,152	—	—	1,208	2,924	1,951	1,866	3,817				
〃医学部分館	1,246	—	—	8,995	14,377	人 1,102	—	—	515	1,023	3,287	5,591	8,878				
山形大学	人 4,566	—	—	14,339	29,755	人 1,604	—	—	1,069	2,389	325	2,144	2,469				
〃医学部分館	933	—	—	3,938	6,940	人 1,159	—	—	977	1,820	149	3,434	3,583				
〃工学部分館	3,322	—	—	7,828	14,888	人 296	—	—	445	941	86	807	893				
〃農学部分館	672	—	—	2,781	4,357	人 156	—	—	94	219	38	233	271				
福島大学	人 4,549	—	—	16,455	37,878	人 612	—	—	1,908	5,790	4,817	2,257	7,074				
青森公立大学	人 1,232	—	—	8,125	17,794	人 68	—	—	279	709	0	34	34				
青森県保健大	762	—	—	10,182	26,009	人 332	—	—	1,085	3,848	8,860	1,964	10,824				
岩手県立大学	人 2,432	76,048	—	9,084	18,114	人 516	6,043	—	852	2,106	2,338	0	2,338				
宮城大学大和	人 1,731	—	—	8,077	17,581	人 299	—	—	527	1,540	5,514	1,579	7,093				
キャンパス	人 1,740	—	—	1,674	3,122	人 299	—	—	281	745	531	48	579				
〃太白キャンパス	1,839	—	—	—	26,484	人 437	—	—	—	6,458	2,152	3,774	5,926				
秋田県立大学	人 334	—	—	—	6,553	人 88	—	—	—	1,234	571	109	680				
秋田公美工短	人 402	—	—	—	3,861	人 91	—	—	—	1,052	3,469	56	3,525				
国際教養大学	人 428	—	—	5,083	8,882	人 46	—	—	522	1,067	1,690	273	1,963				
山形保健医大	人 655	25,436	—	4,717	8,969	人 107	1,418	—	338	832	512	15	527				
米沢女子短大	人 1,045	—	—	2,591	4,839	人 195	—	—	293	613	220	41	261				
会津大学	人 346	—	—	1,764	3,357	人 145	—	—	278	553	52	6	58				
会津大学短大	人 1,189	—	—	7,654	14,122	人 1,696	—	—	1,810	4,168	—	6,005	6,005				
福島県立医大	人 1,807	—	—	—	1,910	人 177	—	—	—	631	391	239	630				
青森大学	人 371	5,752	—	—	778	人 97	1,143	—	—	257	440	1	441				
東北女子大学	人 1,083	17,093	—	1,803	3,747	人 162	782	—	350	1,136	922	207	1,129				
八戸大学	人 1,692	—	—	3,886	5,621	人 244	—	—	189	655	137	136	273				
八戸工業大学	人 810	—	—	2,973	5,168	人 164	—	—	178	1,114	711	5	716				
弘前学院大学	人 1,476	—	—	3,102	5,694	人 2,718	—	—	3,576	9,793	—	—	—				
岩手医科大学	人 1,037	165	376	2,391	4,984	人 137	29	51	399	948	242	242	242				
富士大	人 2,120	47,872	—	6,622	13,143	人 248	1,172	—	403	1,071	2,039	488	2,527				
修紅短期大学	人 223	—	—	—	1,700	人 67	—	—	—	16	7	7	7				
岩手看護短大	人 243	101	133	994	1,588	人 88	22	47	39	75	10	—	10				
仙台大学	人 2,090	—	—	1,872	3,416	人 139	—	—	45	99	276	34	310				
百合女子大	人 1,290	—	—	3,484	6,743	人 277	—	—	309	725	230	22	252				
石巻専修大学	人 2,187	—	—	2,905	5,162	人 141	—	—	728	1,655	—	294	294				
東北学院大学中央	人 12,742	—	—	9,062	16,779	人 1,067	—	—	1,382	4,977	754	904	1,658				
東北学院大多賀城	人 12,742	—	—	4,768	11,422	人 1,067	—	—	496	1,915	213	391	604				
東北学院大泉	人 12,742	—	—	9,972	17,899	人 1,067	—	—	1,429	3,839	880	304	1,184				
東北工業大学	人 3,373	—	—	4,273	7,214	人 234	—	—	354	671	603	13	616				
東北福祉大学	人 4,839	—	—	15,483	33,680	人 618	—	—	928	2,516	957	4,099	5,056				
東北文化学園	人 2,976	—	—	10,052	13,857	人 315	—	—	818	1,797	5,385	61	5,446				
東北薬科大学	人 1,662	—	—	1,004	1,581	人 175	—	—	400	762	3,533	167	3,700				
宮城学院女大	人 3,443	—	—	15,582	27,160	人 447	—	—	896	3,705	6	2,103	2,109				
尚絅学院大学	人 1,720	—	—	5,958	12,119	人 297	—	—	293	1,154	6	6	6				
聖和学園短大	人 635	11,887	—	2,230	3,506	人 138	1,486	—	252	517	2,340	5	2,345				
ノースアジア大学	人 1,601	—	—	1,622	3,368	人 236	—	—	224	1,178	204	17	221				
東北芸工大学	人 2,144	—	—	9,120	19,411	人 352	—	—	865	2,201	111	3,937	4,048				
羽陽学園短大	人 320	—	—	—	4,706	人 63	—	—	—	442	—	69	69				
山形短期大学	人 847	49,924	—	4,658	8,808	人 186	—	—	166	311	—	13	13				
いわき明星大	人 2,219	—	—	14,336	265	—	—	—	1,509	875	226	1,101	1,101				
奥羽大学	人 1,229	45,127	—	2,082	3,435	人 463	19,340	—	1,417	2,660	15,954	560	16,514				
郡山女子大学	人 1,431	8,451	—	—	850	人 235	1,088	—	—	966	193	193	193				
東日本国際大	人 851	14,089	—	1,346	2,446	人 195	1,583	—	396	810	918	172	1,090				
日本大工学部	人 4,916	118,102	—	8,191	17,763	人 337	1,877	—	886	4,645	1,725	609	2,334				
桜の聖母短大	人 464	21,279	—	2,068	4,665	人 75	1,823	—	427	1,004	—	2	2				
福島学院大学	人 1,278	—	—	1,718	3,086	人 130	—	—	229	554	52	10	62				

## (3) 雑誌・新聞所蔵及び受付種類数・製本冊数

(平成 18 年度分)

図書館名	雑誌・新聞所蔵			受付種類数						雑誌・新聞 購入費	製本費	
				受付数			内購入分					
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計		冊数	金額
弘前大学	種	種	種	種	種	種	種	種	種	千円	冊	千円
(〃医学部分館)	14,212	3,919	18,131	2,859	423	3,282	561	327	888	38,137	250	406
(〃医学部分室)	3,378	2,517	5,895	672	411	1,083	75	287	362	33,659	1,529	2,527
岩手大学	576	142	718	247	26	273	37	20	57	1,334	106	171
東北大学	7,994	2,098	10,092	5,509	520	6,029	435	360	795	25,190	1,333	2,325
" 医学分館	21,661	16,972	38,633	5,383	3,107	8,490	1,409	2,302	3,711	216,879	5,843	10,817
" 北青葉山分館	3,515	9,822	13,337	1,689	1,398	3,087	577	1,167	1,744	154,244	3,918	6,818
" 工学分館	1,652	6,589	8,241	808	1,279	2,087	125	582	707	125,446	2,603	4,935
" 農学分館	3,070	4,296	7,366	1,180	702	1,882	305	633	938	139,084	2,425	3,975
宮城教育大学	2,774	1,934	4,708	1,230	374	1,604	172	226	398	44,645	781	1,651
秋田大学	5,007	778	5,785	1,260	153	1,413	528	124	652	12,464	318	690
" 医学部分館	6,250	2,504	8,754	1,296	318	1,614	340	281	621	34,989	1,175	1,925
" 医学分館	1,515	1,647	3,162	611	286	897	160	241	401	24,780	1,261	2,094
山形大学	9,484	3,104	12,588	2,760	609	3,369	480	332	812	19,501	97	154,560
" 医学部分館	2,350	2,180	4,530	921	569	1,490	188	365	553	38,867	0	0
" 工学部分館	1,360	729	2,089	375	93	468	54	51	105	9,552	600	1,000
" 農学部分館	1,169	404	1,573	814	31	845	94	26	120	3,266	308	499
福島大学	10,155	3,056	13,211	3,201	511	3,712	594	395	989	28,099	2,390	3,964
青森公立大学	1,039	44	1,083		0	2,166	103	2,269		23,560	200	596
青森県保健大	812	256	1,068	547	158	705	262	151	413	21,334	963	2,117
岩手県立大学	432	237	669	415	230	645	410	230	640	24,316	974	1,875
宮城大学大和	630	367	997	265	148	413	225	147	372	14,982	0	0
キヤンパス	295	115	410	186	60	246	155	59	214	9,376	28	177
" 太白キヤンバス	1,872	802	2,674	952	322	1,274	443	309	752	35,518	1,194	2,147
秋田県立大学	76	36	112	71	29	100	69	29	98	1,551	0	0
秋田公美工短	61	73	134	55	76	131	44	72	116	2,443	126	224
国際教養大学	795	185	980	—	—	—	91	90	181	9,155	0	0
山形保健医大	166	46	212	145	24	169	99	24	123	2,731	252	124
米沢女子短大	514	811	1,325	240	292	532	90	292	382	41,176	—	—
会津大学	89	88	177	87	31	118	87	31	118	2,817	0	0
会津大学短大	4,444	2,928	7,372	1,067	543	1,610	294	448	742	54,618	1,447	2,611
福島県立医大	160	84	244	160	84	244	123	84	207	17,054	0	0
青森大学	314	21	335	146	42	188	63	21	84	2,899	0	0
東北女子大学	815	101	916	744	68	812	161	59	220	5,650	0	0
八戸大学	878	612	1,490	313	93	406	93	93	186	18,667	238	499
八戸工業大学	744	47	791	104	48	152	104	48	152	4,910	108	185
弘前学院大学	4,206	2,673	6,879	1,293	528	1,821	349	384	733	64,818	2,443	4,073
岩手医科大学	3,847	412	4,259	1,403	126	1,529	168	36	204	11,930	777	1,468
富士大学	2,561	202	2,763	977	63	1,040	150	59	209	6,059	19	35
盛岡大学	61	0	61	61	0	61	33	0	33	338	240	483
修紅短期大学	188	52	240	64	6	70	53	6	59	1,146	69	144
岩手看護短大	1,285	177	1,462	107	96	203	107	96	203	9,905	484	919
仙台大学	280	89	369	236	83	319	210	81	291	10,984	392	823
百合女子大学	616	651	1,267	224	410	634	195	201	396	38,407	144	2,496
石巻専修大学	6,554	1,985	8,539	2,420	378	2,798	324	343	667	26,840	828	1,599
東北学院大学中央	1,639	1,295	2,934	652	388	1,040	240	363	603	60,503	488	993
東北学院大多賀城	2,393	894	3,287	725	388	1,113	352	387	739	54,363	821	1,600
東北学院大泉	1,131	576	1,707	689	298	987	221	278	499	41,104	943	2,078
東北福祉大学	3,826	726	4,552	2,029	360	2,389	521	333	854	33,201	108	3,199
東北文化学園	1,293	144	1,437	670	60	730	174	42	216	6,705	358	601
東北薬科大学	461	434	895	214	121	335	50	106	156	21,022	962	1,989
宮城学院女大	6,307	692	6,999	1,418	280	1,698	641	253	894	18,741	—	315
尚絅学院大学	0	0	0	217	54	271	211	54	265	5,924	58	111
聖和学園短大	76	1	77	289	1	290	66	1	67	764	24	50
ノースアジア大学	1,892	270	2,162	731	91	822	131	91	222	6,253	129	216
東北芸工大学	156	129	285	128	54	182	128	54	182	3,702	—	—
羽陽学園短大	79	11	90	75	6	81	71	6	77	1,170	104	224
山形短期大学	126	32	158	95	10	105	95	10	105	2,854	0	0
いわき明星大	720	428	1,148	293	177	470	291	177	468	17,751	968	1,526
奥羽大学	1,064	1,225	2,289	611	250	861	271	215	486	27,833	1,687	2,953
郡山女子大学	6	1	7	150	14	164	138	14	152	5,020	391	698
東日本国際大	204	76	280	628	40	668	141	35	176	4,859	260	494
日本大工学部	1,602	1,333	2,935	463	316	779	412	316	728	46,891	1,911	3,593
桜の聖母短大	118	34	152	87	22	109	80	22	102	1,747	72	136
福島学院大学	85	13	98	85	13	98	82	13	95	2,619	19	40

# 協議会総会会場一覧

回	年	所在地	会 場 大 学	備 考	回	年	所在地	会 場 大 学	備 考
昭和	22	宮 城	東 北 大 学	②	33	53	福 島 大 学	福 島 大 学	③
	23	"	仙 台 工 業 専 門 学 校		34	54	宮 城 東 北 福 祉 大 学	宮 城 東 北 福 祉 大 学	④
	24	"	東 北 学 院 大 学		35	55	秋 田 秋 田 大 学	秋 田 秋 田 大 学	⑤
	24	"	東 北 大 学		36	56	山 形 山 形 大 学	山 形 山 形 大 学	②
	25	岩 手	岩 手 大 学		37	57	宮 岩 宮 岩 前 大 学	宮 岩 宮 岩 前 大 学	⑤
	26	山 形	山 形 大 学		38	58	青 森 弘 岩 手 大 学	青 森 弘 岩 手 大 学	②
	27	青 森	弘 岩 手 大 学		39	59	宮 岩 手 医 科 大 学	宮 岩 手 医 科 大 学	⑤
	28	福 島	福 島 大 学		40	60	福 島 東 北 大 学	福 島 東 北 大 学	③
	29	秋 田	秋 田 大 学		41	61	秋 田 福 島 大 学	秋 田 福 島 大 学	⑤
	30	宮 城	宮 城 学 院 女 子 大 学		42	62	宮 岩 秋 田 大 学	宮 岩 秋 田 大 学	③
	31	岩 手	岩 手 医 科 大 学		43	63	宮 岩 平 成 大 学	宮 岩 平 成 大 学	⑥
	32	山 形	山 形 大 学		44	元 44	山 形 山 形 大 学	山 形 山 形 大 学	⑥
	33	秋 田	秋 田 大 学		45	2	青 森 弘 岩 手 大 学	青 森 弘 岩 手 大 学	⑥
	34	青 森	弘 岩 手 大 学		46	3	宮 岩 石 卷 大 学	宮 岩 石 卷 大 学	②
	35	福 島	福 島 県 立 医 科 大 学		47	4	岩 富 福 島 大 学	岩 富 福 島 大 学	②
	36	宮 城	東 北 大 学		48	5	福 郡 山 女 大 学	福 郡 山 女 大 学	②
	37	岩 手	岩 手 大 大 学		49	6	宮 東 北 大 学	宮 東 北 大 学	②
	38	福 島	福 島 大 学		50	7	宮 秋 田 経 済 大 学	宮 秋 田 経 済 大 学	②
	39	宮 城	東 北 学 院 大 学		51	8	山 形 大 学	山 形 大 学	⑦
	40	秋 田	秋 田 大 学		52	9	宮 東 北 大 学	宮 東 北 大 学	②
	41	山 形	山 形 大 学		53	10	青 森 盛 岡 大 学	青 森 盛 岡 大 学	②
	42	宮 城	東 北 薬 科 大 学		54	11	宮 盛 岡 大 学	宮 盛 岡 大 学	②
	43	青 森	弘 前 大 学		55	12	城 城 大 学	城 城 大 学	②
	44	岩 手	奥 州 大 学		56	13	島 奥 羽 大 学	島 奥 羽 大 学	②
	45	宮 城	東 北 工 業 大 学	②	57	14	福 秋 田 大 学	福 秋 田 大 学	②
	46	福 島	福 島 県 立 医 科 大 学		58	15	宮 東 北 福 祉 大 学	宮 東 北 福 祉 大 学	⑧
	47	秋 田	秋 田 経 済 大 学	④	59	16	山 東 形 大 学	山 東 形 大 学	②
	48	宮 城	宮 城 教 育 大 学		60	17	青 青 宮 岩 大 学	青 青 宮 岩 大 学	②
	49	山 形	山 形 大 学		61	18	森 宮 岩 大 学	森 宮 岩 大 学	②
	50	青 森	弘 前 大 学		62	19	城 宮 岩 大 学	城 宮 岩 大 学	②
	51	宮 城	東 北 大 学	④	63	20	手 岩 福 宮 大 学	手 岩 福 宮 大 学	②
	52	岩 手	岩 手 大 学	③	64	21	島 城	島 城	③

※ 第 57 回総会において第 59 回から 64 回までの当番地区が確認された。

## 東北地区大学図書館協議会役員館一覧【第46回(平成3)～第62回(平成19)】

	常任幹事館	幹事館	会計監査館	審査委員館	第62回総会から 論文審査館(平成19年8月まで)
	(国立)	(公立)	(私立)	(国立)	(公立)
第46回総会 (H3. 9～H5. 8)	東北大 東北大学 岩手大学	福島県立会津短期大学 宮城学院女子大学 石巻専修大学	宮城県農業短期大学 東北福祉大学	東北大学 岩手大学	福島県立医科大学 山形県立米沢女子短期大学 日本大学工学部
第48回総会 (H5. 9～H7. 8)	東北大 東北大学 宮城教育大 秋田大学	会津大学短期大学部 東北福祉大学 いわき明星大学	宮城県農業短期大学 東北学院大学	東北大学 宮城教育大学	福島県立医科大学 秋田県立農業短期大学 八戸工業大学 秋田経済法科大学
第50回総会 (H7. 9～H9. 8)	東北大 東北大学 秋田大学	会津大学 東北薬科大学 富士大学	宮城県農業短期大学 八戸工業大学	東北大学 秋田大学	福島県立医科大学 岩手県立官古短期大学 仙台大学 郡山女子大学
第52回総会 (H9. 9～H11. 8)	東北大 東北大学 福島大学	会津大学 八戸工業大学 東北工業大学	宮城県農業短期大学 宮城学院女子大学	東北大学 福島大学	福島県立医科大学 岩手県立官古短期大学 仙台大学 郡山女子大学
第54回総会 (H11. 9～H13. 8)	東北大 東北大学 山形大学	福島県立医科大学 秋田経済法科大学 東北文化学園大学	山形県立米沢女子短期大学 宮城学院女子大学	東北大学 山形大学	秋田県立大学 秋田公立美術工芸短期大学 仙台大学 盛岡大学
第56回総会 (H13. 9～H15. 8)	東北大 東北大学 弘前大学	山形県立保健医療大学 仙台百合女子大学 秋田県立大学	秋田県立大学 東北福祉大学	東北大学 弘前大学	宮城県農業短期大学 八戸大学 東北工業大学
第58回総会 (H15. 9～H17. 8)	東北大 東北大学 岩手大学	秋田県立大学 宮城学院女子大学 いわき明星大学	宮城学院女子大学 宮城大学	仙台百合女子大学 岩手大学	青森県立保健大学 岩手県立大学 宮城学院女子大学 いわき明星大学
第60回総会 (H17. 9～H19. 8)	東北大 東北大学 宮城教育大 秋田大学	宮城大学 岩手県立大学	東北学院大学 岩手医科大学	東北大学 宮城教育大学	青森県立保健大学 青森公立大学 仙台大学 郡山女子大学
第62回総会 (H19. 9～H21. 8)	東北大 東北大学 秋田大学	岩手県立大学 東北福祉大学 郡山女子大学	東北学院大学 青森県立保健大学	東北大学 秋田大学	東北福祉大学 東北学院大学 岩手県立大学 東北大学 郡山女子大学

# 東北地区大学図書館協議会会則

昭和22年5月30日制定

昭和24年12月2日制定（全改）

改正：昭和28年11月13日（第1条（名称）改正）、昭和29年6月11日（第7条（会費）、第8条（票決権）改正）、昭和31年10月5日（第6条（監査館）追加）、昭和33年10月7日（第5条（顧問）追加）、昭和34年8月4日（第9条（会費）改正）、昭和39年7月9日（第9条（会費）改正・同第2項（会計年度）制定）、昭和43年5月10日（第9条（会費）改正）、昭和46年5月13日（第9条（会費）改正）、昭和50年5月16日（第2条（加盟組織の追加）改正）、昭和53年10月19日（第9条（会費・会計年度）改正）、昭和56年10月22日（第6条（幹事館を追加）改正）、昭和61年9月25日（第9条（会費）改正）、平成3年9月26日（第9条（会費）改正）、平成6年9月21日（第9条（会費）改正）

第1条 本会は東北地区大学図書館協議会と称する。

第2条 本会は東北地区における大学および国立工業高等専門学校に附属する図書館をもって組織し、図書館の施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力することを目的とする。

第3条 本会は毎年1回、加盟館輪番により総会を開催する。但し必要に応じ、加盟館過半数の賛成を得て、臨時総会を開くことができる。

第4条 本会の目的を達成するため、隨時図書館に関する講習会の開催、その他必要と認める事業を行うものとする。

第5条 本会に顧問を置くことができる。

顧問はかつて加盟館に在籍し、本会において特に顕著なる功績のあった者の中から、総会においてこれを推薦する。

顧問は総会に出席し、また隨時意見を述べることができる。

第6条 本会に常任幹事館、及び幹事館若干を置く。

1. 常任幹事館、幹事館は幹事会を組織し、協議会の運営にあたる。

2. 幹事会は毎年少なくとも1回招集するものとする。

3. 常任幹事館は協議会の会務を処理し、幹事会を招集する。

4. 常任幹事館、幹事館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第7条 本会の会計事務を監査するため若干の監査館をおく。監査館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第8条 本会の事務所は、常任幹事館内におく。

第9条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額15,000円とする。

2. 本会の会計年度は毎年9月1日にはじまり、翌年8月31日に終わる。

第10条 総会の票決権は1館につき1票とし、議決は出席館過半数の賛成を要する。

第11条 本会則は総会の議決によらなければこれを変更することができない。

## 附 則

本会則は昭和24年12月2日から施行する。

### 附 則（昭和53年10月19日第33回総会）

この改正による会則は、昭和53年10月19日から施行し、昭和54年9月1日から適用する。

### 附 則（昭和56年10月22日第36回総会）

この改正による会則は、昭和56年10月24日から施行し、昭和56年10月24日から適用する。

### 附 則（昭和61年9月25日第41回総会）

この改正による会則は昭和61年9月27日から施行する。

### 附 則（平成3年9月26日第46回総会）

この改正による会則は平成3年9月26日から施行する。

附則（平成6年9月21日第49回総会）  
この会則は平成6年9月21日から施行する。

○第38回東北地区大学図書館協議会総会議事録（抄）

昭和58年9月29日～30日（会場：弘前大学）

全体会議（第1日）

6. 役員の改選について

常任幹事館から、役員の任期（2年）が今年度で満了となるため、次期役員館選出について提案がなされた。これは、幹事館が国立2館、公立1館、私立2館の計5館で、うち1館が常任幹事館となる。会計監査館は公立1館、私立1館で、学術奨励論文審査委員館は、国・公・私立各2館の計6館となる。以上について各部会で検討し、選任の上全体会議で取りまとめることにした。又、会計監査館については、常任幹事館を決め、それに近い大学を推薦願いたいとの提案があり承認された。

## 東北地区大学図書館協議会表彰規程

平成19年9月20日制定

（趣旨）

第1条 この規程は、東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）会則第4条に基づく事業として加盟館の職員を表彰するため、必要な事項を定めるものとする。

（表彰の区分）

第2条 表彰は、次の各号の一に該当する者について行う。

- (1) 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者
- (2) 協議会の運営、発展のために功績顕著であった者

（応募の方法）

第3条 表彰を受けようとする者は、所属する加盟館の長に応募の申請を行う。加盟館の長は、応募の申請に基づき常任幹事館へ推薦を行う。

（審査委員会）

第4条 前条の推薦があった時は、審査委員会が審査を行う。

2. 審査委員会は、常任幹事館及び加盟館の互選による審査委員館若干をもって組織する。
3. 審査委員会に主査館を置き、常任幹事館をもって充てる。
4. 審査委員会は、必要に応じ学識経験者の意見を参考とすることができます。

（表彰者の決定）

第5条 幹事会は、審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定する。

（表彰状の授与等）

第6条 表彰に際しては、別紙様式による表彰状に併せて記念品を贈呈することができる。

2. 表彰は、協議会の総会において行う。

（取扱要項への委任）

第7条 この規程に定めるものほか、表彰について必要な事項は別に定める。

### 附 則

1. この規程は平成19年9月20日から施行する。
2. 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程（昭和40年6月2日制定）は、廃止する。
3. 東北地区大学図書館協議会表彰規程（昭和38年6月30日制定）は、廃止する。

# 東北地区大学図書館協議会表彰規程取扱要項

平成19年9月20日制定

第1 この取扱要項は、東北地区大学図書館協議会表彰規程（以下「規程」という。）第7条の規定に基づき表彰について必要な事項を定めるものである。

第2 規程第2条第1号の「図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者」とは次に掲げる者をいう。

- (1) 図書館活動における業績 業務処理の改善や業務遂行上の成果等で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動において先導的な意義を有するもの。
- (2) 図書館情報学の研究、調査等の業績 図書館情報学に関する著作で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動に対して啓発性を有するもの。
- (3) 前2号の業績は、個人以外にグループも対象とする。

第3 規程第2条第2号の「協議会の運営、発展のために功績顕著であった者」とは、加盟館に5年以上勤務した者のうち、規定文言の主旨に合致するものを対象とする。

第4 規程第3条の推薦の期日は、毎年5月末日までとする。

推薦は、別紙文書により行う。

2. 応募については、自薦、他薦を問わないものとする。

第5 主査館は、推薦調書（各写）を審査委員館に送付し、審査を依頼するものとする。

第6 審査は、会議又はその他の方法による。

第7 推荐調書を提出した審査委員館は、審査には加わらない。

第8 常任幹事館から推薦調書の提出があった場合は、常任幹事館を除く審査委員館の互選によって主査館を決定する。

第9 審査委員館は、当分の間、会則第6条に規定する幹事館をもって充てる。

第10 審査委員館は、審査結果を文書にて、その年の7月末日までに常任幹事館に報告する。

第11 常任幹事館は、審査委員会の結果を総会に報告するものとする。

第12 受賞者等については、その受賞事由、業績等の概要等を協議会誌に公表するものとする。

## 附 則

1. この取扱要項は、平成19年9月20日から施行する。

2. 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項（平成2年9月20日制定）は、廃止する。

（別紙）

文書番号

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会常任幹事館

○ ○ 大学附属図書館長 殿

○ ○ 大学（附属）図書館長

○ ○ ○ ○ 公印

## 表彰者の推薦について

下記の者を、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条〇号に基づく表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。

なお、別紙のとおり推薦調書を提出します。

表彰状様式1（第2条第1号該当者）

表 彰 状  
殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります  
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします。

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

表彰状様式2（第2条第2号該当者）

表 彰 状  
殿

あなたは本協議会の運営に尽力されるとともに大学図書館の発展に多大な貢献をされました  
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします。

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

（第2条第1号該当者）

表 彰 者 推 薦 調 書

○○大学（附属）図書館

職 名		氏 名		生年月日	昭和 平成	年 月 日
推 薦 理 由						
業 績 等	研究のテーマ 又は調査事項					
	発表集会等名					
	発表年月日					
	掲載誌名及び巻号					
	発行年月日					
	発行機関					
	発表者又は著者名					
当該業績等に係る他組織等からの表彰の有無 (有の場合当該組織名)						
図書館業務歴						

備考

- 1) グループの業績等で推薦する場合は、氏名の欄は代表者名を記入し、推薦理由に当該グループ名を記載すること。
- 2) 業績等の記入欄については、該当する個所について記載すること。
- 3) その他参考となる資料を添付すること。

(第2条第2号該当者)

表 彰 者 薦 調 書

○○大学(附属)図書館

職名		氏名		生年月日	昭和 平成	年月日
推薦理由						
履歴事項						
年月日	勤務内容等(大学等名及び業務)					
~						
~						
~						
~						
~						
~						
~						
~						
~						
加盟館勤務年数計〇〇年						

備考

- 1) 勤務期間の計算は、暦日数によるものとし、日を月に換算する時は30日をもって1月とする。
- 2) 休職の期間(業務上の傷病の期間は除く)及び懲戒処分により停職された期間は、勤務期間から除算する。
- 3) その他参考となる資料があれば、添付すること。

記念事業基金積立要綱

昭和57年10月14日制定

当協議会が記念事業を将来行うに必要な基金のために、年度予算に一定積立として計上し、積立てる。

1. 年度の積立金額は、その年度会費総額の10%を限度とする。
2. 期間は昭和57年度からとし、総会の議決により記念事業を行う予定の年度までとする。
3. 積立方法は、金融機関に口座を設け積立てる。
4. その支出については、総会の議決を経なければならない。
5. その会計事務は監査をうけ、総会に報告する。

# 東北地区大学図書館間相互利用手続き申し合わせ

(平成14年9月20日)

東北地区大学図書館協議会

第56回総会の協議結果を尊重し、東北地区大学図書館協議会に加盟する各大学図書館は、「国公私立大学図書館間相互貸借に関する協定」の目的にある「図書館間の相互貸借の円滑化を図り、もってわが国の学術研究・教育の進展に寄与すること。」の精神を生かし、以下を目標として努力する。

## 記

1. 来館利用の際の持参書類については、従来必要とした、「利用依頼書・閲覧許可願」等に代り、所属大学発行の「身分証明書」、「学生証」等の本人確認が可能なものの提示により利用を可能とすること。
2. 各大学それぞれの事情があり（例：女子大学の場合における男子学生の入構等）、また、確実に資料を入手するためにも事前連絡は必要と思われるが、急な来館についても、受入館はできるだけのサービスを行うこと。
3. 相互利用を円滑に行うため、各館は所属する研究者、学生に対して相互利用手続きに関する十分な利用者教育を行うこと。
4. 相互利用を円滑に行うため、各館は「図書館間相互協力便覧」に利用上の留意事項を明記するとともに、各館のホームページ上の利用案内においても明記すること。

# 東北地区国立大学図書館防災連絡網設置要項

平成12年4月20日 第31回  
国立大学図書館東北地区協議会決定  
平成16年4月22日 第35回  
東北地区国立大学図書館協会改正

## (目的)

第1条 東北地区国立大学図書館協会会則（以下「会則」という。）第2条に定める会員（以下「会員」という。）において地震等による激甚な災害が発生した際、会員における図書館業務の維持に関し、会員間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

## (地区防災連絡網)

第2条 地区防災連絡網は会員により構成し、会員間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、国立大学図書館協会の東北地区理事館を充て、地区連絡館が被災した場合は、東北地区国立大学図書館協会総会の当番館がこれに代わるものとする。

## (地区防災連絡館)

第3条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱等をさけるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。但し、会員における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等会員間に共通する日常業務の維持に関して、協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び会員の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、必要がある場合は、国立大学図書館協会の他地区防災連絡館等との連絡にあたるものとする。

5 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会の公立大学及び私立大学の代表との連絡窓口になるものとする。

## (会員の連絡窓口の設置)

第4条 会員に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

## (雑則)

第5条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、会則第5条に定める会議において定める。

## 附 則

この要項は、平成12年4月20日から施行する。

## 附 則

- 1 この要項は、平成16年4月22日から施行する。
- 2 第2条2項の規定において、東北地区理事館と東北地区国立大学図書館協会総会の当番館が重複した場合、地区防災連絡館は会則第5条に定める総会において決定する。

# 東北地区大学図書館協議会公立部会防災連絡網設置要項

平成12年9月20日

東北地区大学図書館協議会（公立部会）

## （目的）

第1条 東北地区大学図書館協議会公立部会加盟館（以下「公立部会加盟館」という。）において地震等による激甚な災害により被災した際、公立部会加盟館における図書館業務の維持に関し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

## （地区防災連絡網）

第2条 地区防災連絡網は、公立部会加盟館により構成し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会公立部会幹事館（以下「公立部会幹事館」という。）を充て、公立部会幹事館が被災した場合は、公立部会会計監査館がこれに代わるものとする。

## （被災館）

第3条 地震等による激甚な災害に被災した公立部会加盟館（以下「被災館」という。）は、被災状況等を地区防災連絡館へ連絡するものとする。

## （地区防災連絡館）

第4条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱を避けるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。ただし、個々の公立部会加盟館における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等公立部会加盟館に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び公立部会加盟館の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会加盟の国立部会及び私立部会の代表との連絡窓口になるものとする。

## （会員の連絡窓口の設置）

第5条 公立部会加盟館に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

## （雑則）

第6条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、東北地区大学図書館協議会公立部会総会において定めるものとする。

## 附 則

この要項は、平成12年9月20日から施行する。

# 加盟館職員名簿

(平成20年4月1日現在)

## 【弘前大学附属図書館】

電話番号 (0172) 39-3155  
FAX番号 (0172) 39-3171  
館長 (併)教授 長谷川 成一  
事務責任者 学術情報部長 謙訪田 義美

## 【岩手大学情報メディアセンター図書館】

電話番号 (019) 621-6082  
FAX番号 (019) 621-6088  
館長 (併)教授 大塚 尚寛  
事務責任者 報媒メディア課長 佐藤 金壽

## 【東北大学附属図書館】

電話番号 (022) 795-5911  
FAX番号 (022) 795-5909  
館長 理事 野家 啓一  
副館長 (併)教授 倉本 義夫  
事務責任者 事務部長 北村 明久

## 【東北大学附属図書館医学分館】

電話番号 (022) 717-7973  
FAX番号 (022) 717-7982  
分館長 (併)教授 柳澤 輝行  
事務責任者 医学分館事務長(併) 吉田 隆幸

## 【東北大学附属図書館北青葉山分館】

電話番号 (022) 795-6368  
FAX番号 (022) 795-3753  
分館長 (併)教授 高木 泉  
事務責任者 管理係長 芳賀 博

## 【東北大学附属図書館工学分館】

電話番号 (022) 795-5892  
FAX番号 (022) 795-7120  
分館長 (併)教授 阿曾 弘具  
事務責任者 専門員 松井 好次

## 【東北大学附属図書館農学分館】

電話番号 (022) 717-8882  
FAX番号 (022) 274-2127  
分館長 (併)教授 池上 正人  
事務責任者 図書係長 大原 正一

## 【宮城教育大学附属図書館】

電話番号 (022) 214-3348  
FAX番号 (022) 214-3351  
館長 (併)教授 青木 守弘  
事務責任者 図書館主幹 斎藤 茂

## 【秋田大学附属図書館】

電話番号 (018) 889-2273  
FAX番号 (018) 832-4917  
館長 (併)教授 渡會 二郎  
事務責任者 事務長 伊藤 重範

## 【秋田大学附属図書館医学部分館】

電話番号 (018) 884-6052  
FAX番号 (018) 884-6252  
分館長 (併)教授 杉山 俊博  
事務責任者 図書係長 原 智子

## 【山形大学附属図書館】

電話番号 (023) 628-4904  
FAX番号 (023) 628-4909  
館長 (併)教授 原 慶明  
学術情報部長 (兼)理事 小山 清人

## 【山形大学附属図書館医学部分館】

電話番号 (023) 628-5054  
FAX番号 (023) 628-5059  
分館長 (併)教授 青柳 優  
事務責任者 チームリーダー 鈴木 みち子

## 【山形大学附属図書館工学部分館】

電話番号 (0238) 26-3019  
FAX番号 (0238) 26-3408  
分館長 (併)教授 仁科 辰夫  
事務責任者 チームリーダー 石山 博子

### 【山形大学附属図書館農学部分館】

電話番号 (0235) 28-2810

FAX番号 (0235) 28-2815

分 館 長 (併)教 授 高 橋 教 夫  
事 務 責 任 者 チームリーダー 青 野 康 雄

### 【福島大学附属図書館】

電話番号 (024) 548-8083

FAX番号 (024) 548-2377

館長(副学長) (併)教 授 星 野 琴 二  
事 務 責 任 者 学術情報グループリーダー 鈴 木 三 男

### 【青森公立大学図書館】

電話番号 (017) 764-1551

FAX番号 (017) 764-1591

館 長 (併)教 授 佐 藤 和 弘  
事 務 責 任 者 主 幹 斉 藤 仁

### 【青森県立保健大学附属図書館】

電話番号 (017) 765-2011

FAX番号 (017) 765-2012

館 長 (併)教 授 入 江 良 平  
事 務 責 任 者 図 書 課 長 石 川 順 一

### 【岩手県立大学メディアセンター】

電話番号 (019) 694-2070

FAX番号 (019) 694-2071

メ デ ィ ア セ ナ ル 長 (併)教 授 幸 丸 政 明  
事 務 責 任 者 主任図書専門員 岩 倉 琴 重

### 【宮城大学総合情報センター】

電話番号 (022) 377-8313・8314

FAX番号 (022) 377-8383

セ ン タ ー 長 (併)教 授 梶 功 夫  
(大和キャンパス図書館)  
事 務 責 任 者 次 長 安 部 正 則  
(太白キャンパス図書館)

電話番号 (022) 245-1043・1046

FAX番号 (022) 245-2214

事 務 責 任 者 次 長 小野寺 敏 美

### 【秋田県立大学図書・情報センター】

電話番号 (018) 872-1561

FAX番号 (018) 872-1674

図書情報センター長 (併)教 授 森 宏 一  
事 務 責 任 者 総括リーダー 佐々木 健 二

### 【秋田公立美術工芸短期大学附属図書館】

電話番号 (018) 888-8106

FAX番号 (018) 888-8107

館 長 (併)教 授 松 本 研 一  
事 務 責 任 者 主 査 佐 藤 咲 子

### 【国際教養大学図書館】

電話番号 (018) 886-5907

FAX番号 (018) 886-5912

館 長 (併)教 授 勝 又 美智雄  
事 務 責 任 者 参事兼教務課長 加 藤 泰 久

### 【山形県立保健医療大学附属図書館】

電話番号 (023) 686-6671

FAX番号 (023) 686-6679

館 長 (併)教 授 内 田 勝 雄  
事 務 責 任 者 図書館情報主査 赤 木 玲 子

### 【山形県立米沢女子短期大学附属図書館】

電話番号 (0238) 22-7334

FAX番号 (0238) 24-7998

館 長 嶋 崎 伸 一  
事 務 責 任 者 図書館管理専門員 松 浦 恒 三

### 【会津大学情報センター附属図書館】

電話番号 (0242) 37-2545

FAX番号 (0242) 37-2554

情報センター長 (併)教 授 G. ニキシコフ  
事 務 責 任 者 主幹兼事務長 松 下 進

### 【会津大学短期大学部附属図書館】

電話番号 (0242) 37-2458

FAX番号 (0242) 37-2412

館 長 (併)教 授 安 江 俊 二  
事 務 責 任 者 主任司書 秋 葉 康 江

**【福島県立医科大学附属学術情報センター】**

電話番号 (024) 547-1111 (代)

FAX番号 (024) 547-1996

センター長 八木沼 洋行  
事務責任者 学術情報室長 関根俊一

**【青森大学・青森短期大学附属図書館】**

電話番号 (017) 738-2001 (内) 441

FAX番号 (017) 738-0143 (大学)

(017) 738-2034 (短大)

館長 (併)教授 菅勝彦  
事務責任者 主任 下山修司

**【東北女子大学附属図書館】**

電話番号 (0172) 33-2289

FAX番号 (0172) 33-2486

館長 (併)教授 安達弘潮

**【八戸大学・八戸短期大学図書館】**

電話番号 (0178) 30-1695

FAX番号 (0178) 30-1737

館長 (併)教授 畠山俊輝  
事務責任者 事務室長(司書) 小松良重

**【八戸工業大学図書館】**

電話番号 (0178) 25-8032

FAX番号 (0178) 25-8887

館長 (併)教授 斎藤正博  
図書館次長 (併)教授 小林繁吉  
事務責任者 事務長 小西孝則

**【弘前学院大学附属図書館】**

電話番号 (0172) 34-5211

FAX番号 (0172) 38-4071

館長 (併)教授 森田喜郎  
事務責任者 主任司書 佐藤まり

**【岩手医科大学附属図書館】**

電話番号 (019) 651-5111

FAX番号 (019) 625-8030

館長 (併)教授 澤井高志  
分館長 (併)教授 上原至雅  
事務責任者 事務室長 菅原良子

**【富士大学図書館】**

電話番号 (0198) 22-4986

FAX番号 (0198) 23-5818

館長 (併)教授 牧野博  
事務責任者 參議(併)学生課長 井手俊一  
課長代理 菅原芳徳

**【盛岡大学図書館】**

電話番号 (019) 688-5561

FAX番号 (019) 694-1048

館長 (併)教授 高橋俊和  
事務責任者 事務室長 司書 八木融子

**【修紅短期大学図書館】**

電話番号 (0191) 24-2211

FAX番号 (0191) 24-2213

館長 (併)教授 小室彰  
事務責任者 司書 蜂谷公江

**【岩手看護短期大学図書館】**

電話番号 (019) 687-3864 (代表)

FAX番号 (019) 687-3894 (〃)

館長 (併)学長 小川英行  
事務責任者 司書(併)講師 三田弥生

**【仙台大学附属図書館】**

電話番号 (0224) 55-1399

FAX番号 (0224) 57-2062

館長 (併)教授 三浦望慶  
事務責任者 課長 川村隆

**【仙台白百合女子大学図書館】**

電話番号 (022) 374-5090

FAX番号 (022) 374-4577

館長 (併)教授 大本泉  
事務責任者 図書館事務長 生出登

**【石巻専修大学図書館】**

電話番号 (0225) 22-7718

FAX番号 (0225) 22-7875

館長 (併)教授 羽田紘一  
事務責任者 事務課長 石川栄一

### 【東北学院大学中央図書館】

電話番号 (022) 264-6491  
FAX番号 (022) 264-6490  
館長 (併)教授 佐藤 司郎  
事務責任者 図書情報課長 三浦 陸

### 【東北学院大学多賀城キャンパス図書館】

電話番号 (022) 368-1206  
FAX番号 (022) 368-0777  
分館長 (併)教授 星 善元  
事務責任者 課長補佐 高橋 富士男

### 【東北学院大学泉キャンパス図書館】

電話番号 (022) 375-1174  
FAX番号 (022) 375-2121  
分館長 (併)教授 石川 文康  
事務責任者 課長補佐 早坂 孝司

### 【東北工業大学付属図書館】

電話番号 (022) 305-3178  
FAX番号 (022) 305-3180  
館長 (併)教授 高橋 恒夫  
事務責任者 事務長 早坂 のり子

### 【東北福祉大学図書館】

電話番号 (022) 717-3319  
FAX番号 (022) 717-3339  
館長 (併)教授 高橋 美由紀  
事務責任者 次長 石田 信孝  
課長 本間 雅人

### 【東北文化学園大学総合情報センター図書館】

電話番号 (022) 233-3878  
FAX番号 (022) 233-9453  
総合情報センター長 江村 超  
事務責任者 法人事務局長 山本 嘉人

### 【東北薬科大学附属図書館】

電話番号 (022) 727-0061  
FAX番号 (022) 273-5255  
館長 (併)教授 菊地 正雄

### 【宮城学院女子大学図書館】

電話番号 (022) 279-5658  
FAX番号 (022) 279-6077  
館長 (併)教授 犬飼 公之  
事務責任者 大学事務部長補佐 大坂 田茂子

### 【尚絅学院大学図書館】

電話番号 (022) 381-3439・3440  
FAX番号 (022) 381-3411  
館長 (併)教授 阿留多伎 真人  
事務責任者 図書課長 木村 久美子

### 【聖和学園短期大学図書館】

電話番号 (022) 376-8257  
FAX番号 (022) 376-3155  
館長 (併)教授 関根 俊二  
事務責任者 司書 安田 明華

### 【ノースアジア大学附属図書館】

電話番号 (018) 836-2405  
FAX番号 (018) 836-4402  
館長  
事務責任者 大学事務部長 岡野 幹人

### 【東北芸術工科大学図書館】

電話番号 (023) 627-2044  
FAX番号 (023) 627-2085  
館長 (併)教授 西村 宣起  
事務責任者 事務長 加藤 芳彦

### 【羽陽学園短期大学附属図書館】

電話番号 (023) 655-2385  
FAX番号 (023) 655-2844  
館長 (併)教授 研攻一  
事務責任者 図書係長 高橋 明子

### 【山形短期大学附属図書館】

電話番号 (023) 688-7544  
FAX番号 (023) 688-6438  
館長 (併)准教授 伊藤 弘昭  
事務責任者 課長 高橋 節子

**【いわき明星大学図書館】**

電話番号 (0246) 29-7121

FAX番号 (0246) 29-5001

館長 (併)教授 清水信行  
事務責任者 グループ長 片見智子

**【奥羽大学図書館】**

電話番号 (024) 932-8931

FAX番号 (024) 932-8944

館長 安藤勝  
事務責任者 事務長 増子弘信

**【郡山女子大学図書館】**

電話番号 (024) 932-4848

FAX番号 (024) 924-1394

館長 副学長 教授 山田幸二  
副館長 教授 二宮和比古  
事務責任者 司書係長・非常勤講師 和知剛

**【東日本国際大学学術情報センター】**

電話番号 (0246) 35-0416

FAX番号 (0246) 25-9188

センター長 (併)教授 砂田登士夫

**【日本大学工学部図書館】**

電話番号 (024) 956-8641

FAX番号 (024) 956-8869

館長 教授 白井健二  
事務責任者 図書館事務課長 今津正人

**【桜の聖母短期大学図書館情報センター】**

電話番号 (024) 534-7137

FAX番号 (024) 531-2320

館長 (併)教授 ウィリアム・スタインマン  
事務責任者 津田文子

**【福島学院大学図書館情報センター】**

電話番号 (024) 553-2087

FAX番号 (024) 553-8253

館長 (兼)教授 片山邦子  
事務責任者 (兼)業務課長 呂学如



世界最大規模の書誌・引用データベース  
世界4,000社の15,600タイトルを収録  
Article in Pressにも対応

[www.scopus.com](http://www.scopus.com)

研究活動評価ツール  
としても使えます  
  
自宅でも使えます  
  
自分に興味のある  
文献情報が  
メールで届きます

投稿規程も調べられます



電子ジャーナル 約2,000タイトル の他  
電子ブック 約4,000タイトルも搭載  
リモートアクセスにも対応  
[www.sciencedirect.com](http://www.sciencedirect.com)

引用数が多い論文が  
簡単に見つけられます

印刷体発行前論文  
Articles in Press  
も読みます

フルテキストに  
すぐにたどり着けます



本文の内容からも  
検索できます



エルゼビア・ジャパン株式会社  
電子図書館サービス

Tel: 03-5561-5034 E-mail: [jp.pr@elsevier.com](mailto:jp.pr@elsevier.com)  
<http://japan.elsevier.com/>

無料  
トライアル  
実施中!!

Online

BOOKS-YUSHODO  
オンラインデータベース

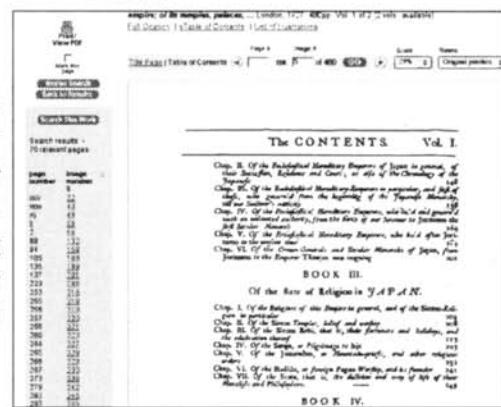
# Eighteenth Century Collections Online 18世紀英語・英國刊行物データベース

18世紀刊行の英語・英語文献3300万頁をフルテキスト検索!  
英語圏の全印刷物を網羅、あらゆる分野・形態のものを収録

21世紀の我々がインターネットで様々な情報を引き出せるように、  
18世紀の情報もパソコンで自在に検索できたらー。

18世紀の英語圏刊行物15万点を完全収録し、全文検索を可能にする  
Eighteenth Century Collections Online (ECCO) は、「18世紀のインターネッ  
ト」とは言えないまでも、それに限りなく近い環境を研究者  
や学生に提供する画期的なオンライン商品です。ジョンソン、ロック、  
スウィフト、ケンペル、ギボン、その他無数の文筆家たちが遺した  
3300万頁にのぼる出版物の一語一句まで、お手元のパソコンで  
探し当て、原書どおりの画像を閲覧することができます。ECCOの  
提供する驚異的な検索・閲覧環境をぜひご体感ください。

「雄松堂 ECCO」で検索しますと詳細ページにアクセスできます。



# The Making Of the Modern World 社会科学系学術図書データベース

The Goldsmiths'-Kress Library of Economic Literature 1460-1850  
「ゴールドスミス・クレス」が、オンラインで閲覧可能に。

「近代」のルーツを探る、世界最高の  
社会経済史コレクション

本データベースは15世紀半ばから1850年までの経済史・経営史・  
社会思想史を中心とする社会科学関係の書籍61,000点、および  
同年代に創刊された定期刊行物466点を収録し、フルテキスト  
検索を可能にする一大データベースです。収録資料は社会科学  
系の歴史的コレクションとして望みうる最高のものである  
と言われているロンドン大学ゴールドスミス文庫とハーバード  
大学経営大学院クレス文庫の蔵書を原本としており、社会科学  
全域をカバーした1200万ページにもおよぶ資料の検索は  
研究に貴重な資料を供給します。

「雄松堂 MOMW」で検索しますと詳細ページにアクセスできます。

GALE  
CENGAGE Learning



株式会社 雄松堂書店

価格等詳細は小社営業部までお問い合わせ下さい。  
-日本総販売代理店- <http://www.yushodo.co.jp>

〒160-0008 東京都新宿区三栄町29 Tel 03-3357-1411 (代) Fax 03-3356-8730 E-mail: sales@yushodo.co.jp



## 地球は、もっとひとつになります。

ユビキタス社会になって

情報は、距離や時間に制約されずに

みんなで共有できるものになりました。

それは、環境についてもおなじこと。

“みんな”でひとつになって共有して

なんとかしなければならない問題です。

私たちNECでは2002年から

IT、で、エコのスローガンをかけ

CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んできました。

環境に配慮した製品やサービスとITソリューション。

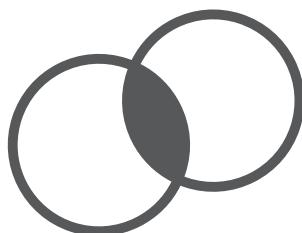
ゆたかで便利になるととおなじように

社会全体がエコになることを目指しています。

IT、で、エコ NECです。



更新されるテーマにチャレンジして、あなたの生活の環境負荷を低減しましょう。  
毎日がエコノヒになります！ → [www.it-eco.net/econohi/](http://www.it-eco.net/econohi/)



**IT、で、エコ**  
[www.it-eco.net](http://www.it-eco.net)

# 丸善の図書保管サービス

## 本の保管・引越し、お任せ下さい



図書・雑誌の保管スペースは充分ですか  
図書配架に窮屈が発生していませんか  
カリキュラムの編成に合せた配架は充分ですか  
利用者サービススペースは充分ですか  
分室・資料室の整理は進んでいますか



専用の保管箱でお預かりします  
定温定湿、免震・防火対策・セキュリティ体制の  
整備された環境で保管します  
箱単位で、一冊づつ図書データを採取し提供いたします



お預かりした図書・雑誌が必要になりましたら  
専用Webサイト(eTRUNK)でお申込み下さい  
宅配便・巡回便にてお届けします  
倉庫内の閲覧スペースもご用意しております



月額保管料金(群馬県 館林倉庫)

菊版図書17mm換算  
150mm×220mm

A4図書17mm換算  
210mm×297mm

文書専用保存箱  
月額135円

57冊

28冊

33cm×42cm×29cm

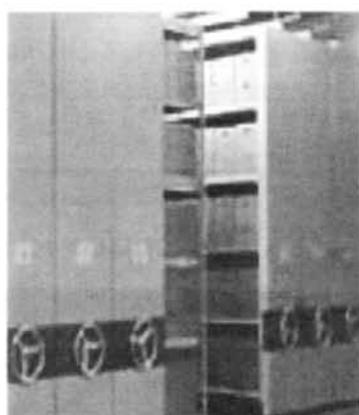
書籍専用保存箱

月額120円

44冊

24冊

33cm×36cm×27cm



個人蔵書にも対応いたします  
図書館のプロがお手伝いします  
現地での閲覧も可能！

### お問い合わせ先



丸善株式会社 教育・学術事業本部  
ソリューションセンター 図書館サービスセンター  
〒103-8244 東京都中央区日本橋3-9-2 4F  
TEL (03)3273-2105 FAX: (03)3273-2124





OCLC



<http://www.kinokuniya.co.jp/03f/oclc/netlibrary.htm>

NetLibraryは世界最大の図書館ネットワークである OCLC (Online Computer Library Center, Inc.) の一部門として、eBookコレクションを提供しています。NetLibraryの eBookは、インターネット環境とWebブラウザさえあれば、いつでもどこでもアクセスが可能です。

学術書を中心に、辞書、百科事典、ハンドブック、専門ガイドなどのレファレンス書、各分野の専門書、ビジネス書、一般書などを刊行する日本・欧米主要出版社約 500社が参加し、多彩な内容となっています。

### 日本語コンテンツ好評販売中！

【日本の参加出版社（予定を含む）】朝倉書店、岩波書店、エヌ・ティー・エス、紀伊國屋書店出版部、京都大学学術出版会、慶應義塾大学出版会、勁草書房、三省堂、誠信書房、青土社、シュプリンガー・ジャパン、春秋社、小学館、創元社、大修館書店、玉川大学出版部、中央公論新社、中央法規出版、築地書館、東京大学出版会、東京電機大学出版局、白水社、法政大学出版局、みすず書房、ミネルヴァ書房、未来社、有斐閣、吉川弘文館、理工図書（2008年 2月現在、 50音順）

#### ◆NetLibrary の特徴◆

- ・学術系 eBookを 16万タイトル近く含むコレクションで、欧米の優良出版社の多数（約 500）が参加しています。全世界で約 16,000の機関が利用しています。
- ・書架スペースの問題に頭を悩ませることはありません。
- ・保管、破損、紛失などの問題を考える必要がありません。
- ・インターネットと Webブラウザで閲覧でき、専用デバイスやリーダーは不要です。  
(一部 Adobe®Reader®使用)
- ・NetLibraryの eBookすべて（未購入を含む）の横断検索・全文検索が可能です。
- ・著作権の範囲内でコピーまたは印刷することができます。
- ・内蔵辞書や付箋、メモなどの便利な機能が利用できます。
- ・利用統計の確認、個人アカウントの管理などを行える管理用ツールがあります。
- ・購入した eBookについては MARC (MARC21または NACSIS-CAT形式)が提供されます。

#### ◆ご利用方法◆

- ・NetLibraryサイト (<http://www.netlibrary.com>) にアクセスしてご利用いただきます。
- ・Windows OS, Microsoft Internet Explorer 5.5以上か Netscape 6.2以上のブラウザが必要です。  
(一部 Adobe®Reader®使用)

#### ◆認証方式◆

- ・IPアドレスによる認証と、個人アカウントによる認証をご利用いただけます。

#### ◆ご購入の条件◆

- ・NetLibrary eBookはタイトル単位の買い切り商品です。ご希望のタイトルやコレクションをご指定ください。個別にお見積もりいたします。
- ・同時アクセス数： 1タイトル 1ユーザー（増やすには複本購入が必要）



紀伊國屋書店

弘前営業所 Tel:0172-36-3755 Fax:0172-66-5649 電子メール：[hirosaki@kinokuniya.co.jp](mailto:hirosaki@kinokuniya.co.jp)  
仙台営業所 Tel:022-227-0301 Fax:022-266-5312 電子メール：[sendai@kinokuniya.co.jp](mailto:sendai@kinokuniya.co.jp)

**FUJIFILM**

**f-standard**  
フィルム・デジタル共存時代へ。

シンプル&スマートに  
マイクロフィルムを活用

デジタルイメージプリンター

# FDIP 7500II

先進デジタル技術がもたらす、  
高画質と多機能。  
さらに拡張性も向上。

- デジタル技術で写真・文字・細線も鮮明。
- ファーストプリント13秒以下。
- 前面集中パネルで簡単操作。
- 多彩なプリント機能と画像編集機能。
- 省スペース、イージーメンテナンス。
- PC接続でマイクロフィルムスキャナーに。



コンパクトボディにカンタン操作、快適・快速なデジタルイメージプリンター

デジタルイメージプリンター

# FDIP 5500II

- 最大A3サイズまで、プリントサイズやタテ・ヨコが自由
- 最高600dpiの解像度で、高画質スキャン&プリント
- 1%刻み、50~200%までカバーするデジタルズーム
- センタリング／フルフレーム、傾き補正なども自動
- PCとの接続で、マイクロフィルムスキャナーに

富士フィルム株式会社 <http://fujifilm.jp/im>

■産業機材部  
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 TEL (03) 6271-3000

# 図書館を支えるチカラ

## 製本

豊富なノウハウと高い技術力で、学術雑誌、新聞などの合冊製本はもとより、貴重な資料の修理に至るまで、あらゆる製本のご要望に小ロットから大量発注まで柔軟に対応します。

## デジタル ソリューション

効率のよいコンテンツづくりから公開・運用までサポート。情報資産の有効活用における多種多様なシーンのご要望にお応えします。

## 資料保存

資料の劣化状況、目的、ご要望に合わせて適切な保存処置をご提案。大切な蔵書を虫やカビから守るために環境整備も支援してまいります。

## アウトソーシング

ライブラリーソリューションセンターを中心に人材・ノウハウを整え、図書館業務の効率的運用・利用者サービスの向上をバックアップします。

## システム & サプライ

図書館システムから書架、スチールボックス・ラベル印刷など、図書館に必須のアイテムを各種取り揃えております。

## ナカバヤシ株式会社 図書館サポートカンパニー

情報と文化を未来に残す URL <http://www.nakabayashi.co.jp/> e-mail [toshokan@nakabayashi.co.jp](mailto:toshokan@nakabayashi.co.jp)

仙台営業所 〒984-0002 仙台市若林区卸町東1丁目6-27 022(284)3045  
東京本社 〒174-8602 東京都板橋区東坂下2丁目5-1 03(3558)1251  
大阪支社 〒536-0005 大阪市城東区中央2丁目1-23 06(6930)6668

A18000102 ISO 9001 ISO 14001 ISO 50001  
AQA-00102  
ISO 9001  
ISO 14001  
ISO 50001  
品質・環境・エネルギー  
品質部門  
環境部門  
エネルギー部門

# 導入成果の確かさでご好評をいただいています

オートライブの最大の特徴は、膨大な図書・資料を効率的に保管し  
合理的な検索・出納システムによって利用者が求めた情報を迅速に、的確に提供できることです。  
出入庫の速さとともに、図書のサイズ別フリーロケーションとダブルコンテナ格納方式の  
採用により高密度保管と高速出納を両立させました。



## ■受注実績 32件

(平成20年3月現在)

### ■大学納入実績

国際基督教大学 ミルドレッドトップスマート図書館  
青山学院大学 相模原キャンパス  
大東文化大学 板橋キャンパス  
立命館大学 BKCCメディアセンター  
九州大学附属図書館 筑紫分館  
東京大学 柏図書館  
明星大学 日野キャンパス  
龍谷大学 瀬田図書館

**Auto Lib.**  
自動化書庫・オートライブ

よりよい保管システムを提供する  
 **日本ファイリング**

日本ファイリング株式会社  
本社／〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2（新御茶ノ水アーバンビル）  
支店／大阪・名古屋 営業所／札幌・仙台・大宮・横浜・広島・福岡

ISO14001  
ISO9001  
認証取得企業

資料請求・お問い合わせは ▶ <http://www.nipponfiling.co.jp> ☎ 0120-808-977 電話受付／月～金(土・日・祝日を除く) 9:00～17:00

---

**東北地区大学図書館協議会誌 第 59 号**

平成 20 年 4 月

発 行 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館内  
**東北地区大学図書館協議会**  
☎ (022) 795-5910

編 集 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館

---